

2017年度

# 総合資料



一般社団法人  
一関青年会議所

## JCIクリード

### *The Creed of Junior Chamber International*

#### **We Believe;**

That faith in God gives meaning and purpose to human life ;

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations ;

That economic justice can best be won by free men through free enterprise ;

That government should be of laws rather than of men ;

That earth's great treasure lies in human personality ; and

That service to humanity is the best work of life

#### **JCI Mission**

To provide development opportunities

that empower young people to create positive change.

#### **JCI vision**

To be the leading global network of young active citizens.

## J C宣言

日本の青年会議所は  
混沌という未知の可能性を切り拓き  
個人の自立性と社会の公共性が  
生き生きと協和する確かな時代を築くために  
率先して行動することを宣言する

## 綱 領

われわれ J A Y C E E は  
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し  
志を同じうする者、相集い、力を合わせ  
青年としての英知と勇気と情熱をもって  
明るい豊かな社会を築き上げよう

## 東北 J C 宣言

われわれは  
新たな価値を創造する旗手として  
尊い「結」の精神を呼び覚まし  
かつてない未来を切り拓くことを誓う

# J C（青年会議所）とは

青年会議所は、「明るい豊かな社会」の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感を持った20歳～40歳までの指導者たらしとする青年の団体です。人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意思によりその居住する各地域の青年会議所に入会することが出来ます。

全国的運動の総合調整機関として日本青年会議所が東京・千代田区にあります。また、アメリカ・セントルイスには国際青年会議所（JCI）事務局があります。現在、132の国及び地域に119国家青年会議所（NOM）を数え、165,000人（2015年11月現在）が国際的な連携を持って活動しています。

日本青年会議所の綱領には、青年会議所の行動理念と目標を明確に表現しています。創立以来の「三信条」は、JC運動の歴史を追って具体化され、青年会議所運動とは、「指導力開発（LD）と社会開発（CD）」であるとも言われてきました。その後、JC運動の基軸は「自らに活力と知力を兼ね揃え積極果敢に社会改革運動を实践できる人間」であるとの考えから「人間力開発」も必要であるとし、日常の活動の場を通じて、我々自身を開発し、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所なのです。

## J C三信条

トレーニング＝個人の修練  
サービス＝社会への奉仕  
フレンドシップ＝世界との友情

1950年5月1日にJCの行動綱領としてこの三信条が採択されました。JC運動は若い人々が集まって自己啓発・修練を行う場であり、培われた力を用いて地域社会にサービス（奉仕）することであると示されました。ただし、上記に記載されたフレンドシップ（友情）とは違う意味で、会員全員、同志を貫く友情があるということはいふまでもありません。

なお、これらの言葉以外にもJayceeを表す言葉として、「英知と勇気と情熱」と表現されることが多いが、この言葉は下記の文節から採用されたとされている。

英知「変えていくものと残すもの、その2つを見分ける英知を我に与えたまえ」

勇気「変えるべきものを変える、チャレンジする勇気を我に与えたまえ」

情熱「変えてはならないものを受け入れる、その冷静さを我に与えたまえ」

# 目次

JC（青年会議所）とは

## ■ 2017年度基調編

理事長所信	pg. 7
スローガン、基本理念、基本方針	pg. 9
組織図	pg. 10
2017年度出向者	pg. 11

## ■ 事業計画

青少年育成	pg. 12
社会開発	pg. 14
総務広報	pg. 16
会員拡大・会員開発	pg. 18
連携推進会議	pg. 21
監事、出向常任理事	pg. 23

## ■ 2016年度報告編

理事長報告	pg. 27
会務報告	pg. 28
組織図	pg. 41

## ■ 事業報告

委員会事業報告	pg. 42
出向者報告	pg. 48
会員移動報告	pg. 52

## ■ 資料編

pg. 53

# 基 調 編

# ガムジャラに!

一般社団法人一関青年会議所  
第62代理事長  
菅原 公正



## 「はじめに」

私は、2010年一関青年会議所に入会致しました。翌年1月、盛岡青年会議所藤田治彦理事長が所信の中で述べられました、「想いは、人を動かす原動力となる。」、その言葉に感銘を受けたことを今でも昨日のことのよう覚えております。その約2か月後3月11日、東日本大震災が発災しました。入会間もない私は、故郷を想い支援活動に熱い気持ちをもって率先して取り組む先輩方の姿に憧れを抱きました。震災の年に岩手ブロックのアカデミーにも出向させて頂き、多くの仲間と掛け替えのない経験もさせて頂きました。それこそが私の青年会議所としての原点であります。

私たちの住む一関市は、平成の大合併(1市7町村の合併)により、西に栗駒山、中央に北上川、東に室根山を望む、東西約63キロメートルと地理的に広大な共同体となる中、流通や地域間交流に課題を持ちながらも協力し合い地域づくりに取り組んできました。しかし今、人口減少と少子高齢化に伴う社会構造の変化がより進む中、担い手不足等、地域の活力の低下が懸念されています。一関市が今以上に活力あるまちとして発展していくためには、市民が旧市町村の枠を飛び越え郷土愛と絆を醸成し、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、それぞれの多様な在り方を相互に認め合える社会を実現していくことが必要です。

平成の大合併以降の一関市は、本当の意味で一つにまとまっているといえるでしょうか。これからの一関市が自信をもって誇れるまち、心が通い合い支え合う住みよいまちにしていくため、私たち自身が行動を起こし、市民に想いを伝えていかなければなりません。まず、私たち自身が一関市全域に積極的に目を向けよう。もっと人や地域を深く掘り下げよう(深化)。また、私たちが主管する事業や実施する事業の中で地域資源や伝統、文化を積極的に取り入れ、それらが持つ真の価値を一関市全域で幅広く認知されるよう発信していこう(真価)。そして、組織として新しい方法や手段も積極的に取り入れていこう(新化)。私たちの新しい取り組みを通じ組織や地域を活性化していこう。さらに、青年会議所しかない時代から青年会議所もある時代だからこそ組織基盤を強化し魅力的な組織で在り続けよう(進化)。「総ての事業や活動は、会員拡大に通じる。」、私たちは、各地域から幅広くメンバーが集う組織を目指し、会員拡大に本気で取り組んで参ります。

## 「深 化」

近年、児童又は青少年の健全な育成を目的とし、寺子屋、ILC、トレジャーハンティングを題

材とした事業の中で地域資源を取り上げ、子どもたちの豊かな人間性と郷土愛の醸成を積極的に図って参りました。子どもたち同士が事業をとおして培う「責任感」「やる気」には無限の可能性が秘められており、本事業は子どもたちの人間としての更なる成長を促す絶好の機会となっております。本年は更に一関市でしか味わえない魅力や豊かな風土、そして地域の伝統や文化を取り入れた事業にこだわり、将来の一関市のまちづくりの担い手となる子どもたちの郷土愛と絆を醸成します。

### 「真 価」

一関青年会議所が主管する二代目時の太鼓大巡行は、昨年40年の節目を迎えました。先人が築きあげてこられた巡行に対する熱い想いや誇りを、41年という次の10年に向けた確かな1歩に繋げるため、巡行の歴史と伝統という魅力を最大限に発信していかなければなりません。時の太鼓大巡行は、一関市の唯一無二の財産であり、広い一関市が1つにまとまるシンボルとなりうる存在であります。本年、私たちは、一関市を愛し誇りに想う気持ちを新たに、参加する多くの市民の皆様と一体感を共有し、一方で自らの主体性を持ちながら、その真の価値を伝えて参ります。

### 「新 化」

近年、SNSやホームページ、私たちを取り巻く情報伝達手段は目まぐるしい進歩を遂げています。一関青年会議所には、「とびら」という対内に向けた情報誌があります。この「とびら」を新しい情報手段と併用しうまく利用し、より効果的に私たちの活動を対外にも発信して参ります。情報発信により私たちの活動を多くの市民に知ってもらうことは、一関青年会議所の周知に繋がります。また、私たちの活動を市民に知ってもらう機会を増やすことは、私たち一人一人が伝統と歴史の上に一関青年会議所があるという自覚や責任感を促す機会に繋がります。

### 「進 化」

一昨年の60周年、昨年のブロック大会と対外に向けて発信する大きな事業は一通り終えることが出来ました。この2年間を通しLOMの一体感、ブロックや他のLOMとの関わりは、より身近なものとなりました。次の周年に向け、この良い流れを継続させるためにも、組織基盤を強化し組織体として進化しなければなりません。しかしながら、会員数の伸び悩みや所属年数5年以下のメンバーが半数以上を占めるといった状況にあります。会員拡大を通じ、旧一関市以外の旧東磐井郡や旧西磐井郡といった幅広い地域からもメンバーが増え、そのメンバーを通じ一関青年会議所の事業や活動を市内全域に広めていくことは、一関青年会議所の魅力向上や周知に直結します。メンバーが増えることで委員会活動も活発に行うことが出来ます。共に自己成長できる機会を積極的に設け、他団体との交流、情報交換を通じ私たちの考えや魅力を最大限伝えることで、会員拡大へ繋がります。また、他団体との研修会、勉強会も企画、実施していくことで会員の資質向上にも繋がります。

### 「むすびに」

青年会議所の運動をまずガムチャラにやってみよう。そうすれば周りに伝播し大きな共感を呼び、大きな発信力となります。その行動こそが地域の意識を変革する大きな原動力となります。できない理由はない、できる方法を探そう、できる努力をしよう、1人1人が前向きに直向きに行動を起こすことで自分を変えよう、自分が変わることで周りが変わります。私たちは、本年を「人財育成」、「自己成長」の1年と位置付け青年会議所の運動をガムチャラに行って参ります。

【スローガン】

# ガムジャラに!

【基本理念】

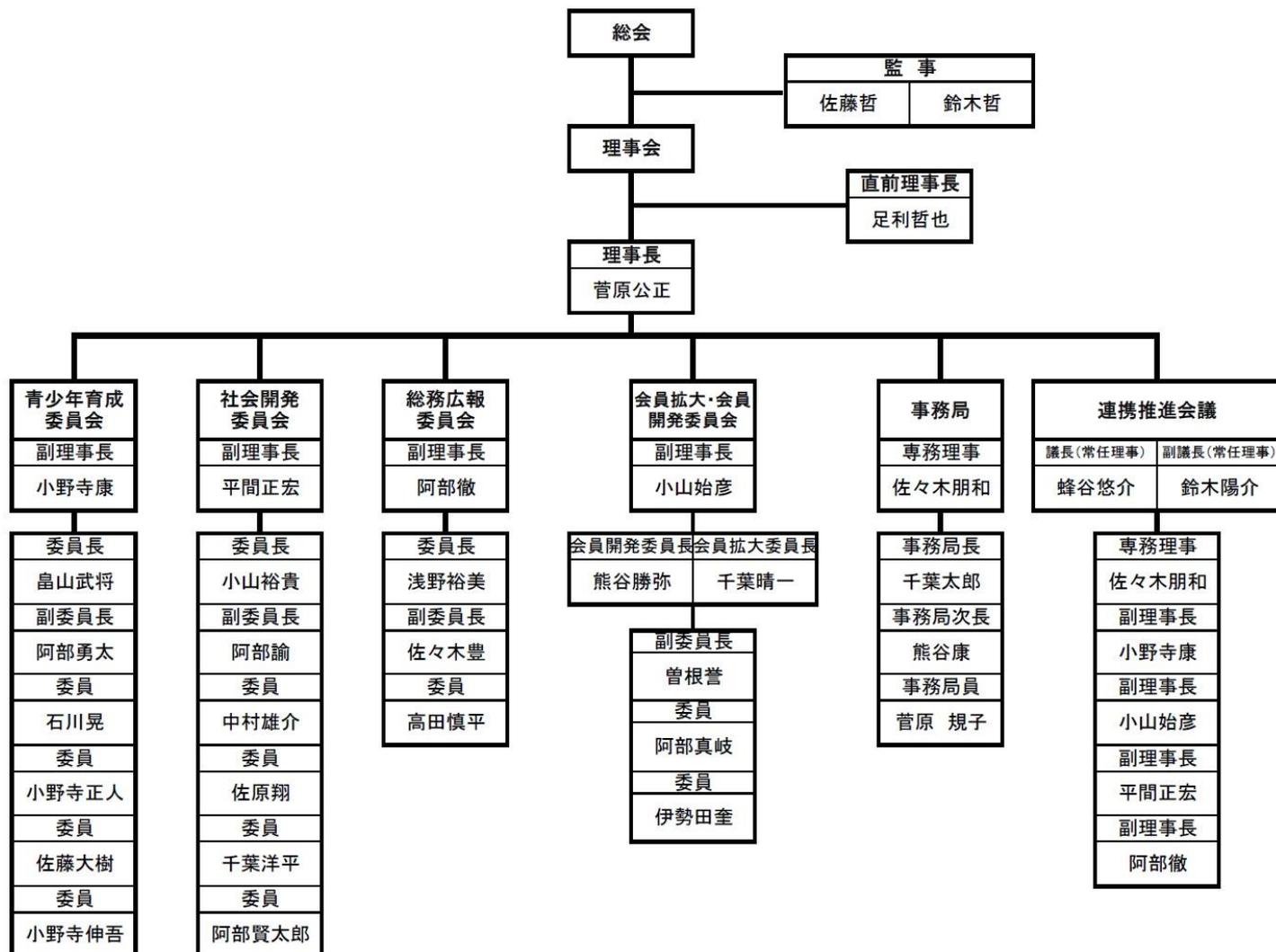
できない理由はない! できる方法を探そう! できる努力をしよう!

【基本方針】

- ・ 会員拡大の実践
- ・ 会員の資質向上
- ・ 外部への積極的な発信
- ・ 地域の活力へと繋がる夏まつり事業
- ・ 笑顔を溢れる青少年育成事業
- ・ 関係諸団体との緊密な連携

# 一般社団法人 一関青年会議所

## 2017 年度組織図



2017年度 日本青年会議所・東北地区・岩手ブロック協議会  
委員会委員・ゼミナール委員・アカデミー塾生

◆東北地区協議会

・東北ゼミナール委員会 委 員 阿部 徹 君

◆岩手ブロック協議会

・ブロック大会運営委員会 副 会 長 足利 哲也 君

・連携推進委員会 委 員 長 平間 正宏 君

運営幹事 鈴木 陽介 君

・LOM支援委員会 委 員 佐々木朋和 君

・ブロック大会運営委員会 委 員 熊谷 勝弥 君

委 員 千葉 晴一 君

・連携推進委員会 委 員 千葉 太郎 君

・岩手の未来創造委員会 委 員 佐々木 豊 君

・総務広報委員会 委 員 小山 裕貴 君

・いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾 生 佐藤 大樹 君

# < 2017年度 委員会事業計画 >

## ■ 青少年育成



担当副理事長 小野寺 康

この度一関青年会議所の育成事業を担う青少年育成委員会の担当常任を仰せつかりました。当会議所は、今求められている必要な育成事業とは何であるかを鑑みながら、その都度、子供たちへ何を学び感じ取って欲しいかを課題目的とし事業を行っております。諸先輩方のその思いを継承するよう、市内の未来を担う子供たちの為、同時に青年会議所メンバー自身が自己成長する為の事業を行っているその方向性を違わぬよう安全第一を念頭に置き、之までの自身の経験を活かし、学び感じた事を還元すべく真摯に向き合い職責を努める所存でございます。

### 青少年育成委員会事業計画書



担当副理事長	小野寺 康
担当委員長	畠山 武将
担当副委員長	阿部 勇太
担当委員	石川 晃
担当委員	小野寺 正人
担当委員	佐藤 大樹
担当委員	小野寺 伸吾

#### ○ スローガン

三づくり ～ 笑顔・仲間・絆 ～

#### ○ 基本方針

- ・ 笑顔の大切さを学ぶ
- ・ 次世代を担う子供たちの育成をする
- ・ 仲間づくりを通して、絆を深める
- ・ 魅力ある一関への郷土愛を深める

○ 基本計画

- ・笑顔溢れる青少年育成事業の実践
- ・メンバー間の交流を深める事業の実践
- ・会員拡大の実践

○ 抱負

我々青少年育成委員会は、子供たちが新たな仲間と出会い、絆を紡ぎ、そして我々の誇るべき郷土一関の素晴らしさを子供たちに発見してもらう事業を行いたいと考えています。それと共に笑顔が、人生に於いて必要な前向きな考えにつながるという事を子供たちに学んで欲しいと考えています。また、青少年育成事業が委員会メンバーだけでは成り立たない事業と考えていることからメンバーとの絆も深め、メンバー一丸となって笑顔溢れ、笑顔の大切さを学ぶ事業を展開していきたいと考えています。

最後に一年間、次世代を担う子供たちの笑顔をガムシャラに追いかけます。

スケジュール	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
例会主管						○				○		

## ■社会開発



担当副理事長 平間 正宏

今年度社会開発委員会の担当副理事長として、一関青年会議所の歴史でもある41回目の時の太鼓大巡行、各青年団体とのさらなる連携を目指した交流事業を担当致します。副理事長として、委員長と連携し責務を持って一年間活動してまいります。どのように委員長と連携し委員会運営や事業を構築していくかが私の役目と考えております。我々の委員会は外部との関わりが多く、一委員会ではなく一関青年会議所として見られていることをしっかりと意識し、外部との連携を図って参ります。一関青年会議所の活動を知って頂き、それが会員拡大にも繋がる大事な委員会ですので、1年間精一杯青年会議所運動の発信をしてまいりますので、宜しくお願い致します。

### 社会開発委員会事業計画書



担当副理事長	平間 正宏
担当委員長	小山 裕貴
担当副委員長	阿部 諭
担当委員	中村 雄介
担当委員	佐原 翔
担当委員	千葉 洋平
担当委員	阿部 賢太郎

- スローガン  
温故知新  
～歴史の重さを感じ、50年目に向けた第1歩を～
- 基本方針
  - ・ 会員拡大の実践
  - ・ 二代目時の太鼓大巡行の主管
  - ・ 友好団体、育成団体との連携の強化
  - ・ 各種青年団体との連携を強め、街づくりに対する意識を醸成する
- 基本計画
  - ・ 通年  
会員拡大の実施
  - ・ 5月例会  
各種青年団体との連携強化

・8月例会

二代目時の太鼓大巡行の主管

一関こども七夕みこし連絡協議会の事務局運営

二代目時の太鼓大巡行に参加頂いた方々に来年も参加したくなるような思いの醸成

○ 抱負

40年の伝統ある二代目時の太鼓大巡行を多くの市民の方々に参加頂き、盛り上げてまいります。

その為に、我々自身が40年の歴史の重さを感じ、参加して頂いた皆さまに来年もまた参加したいという思いを持って頂ける活動を行います。そうすることで今後の参加動員に繋げ、時の太鼓の周知に繋げてまいります。また市内には我々と同じ青年団体があります。そのような青年団体と連携を図り、若者達が率先し街づくりについて考えていただくための機会を創出いたします。その機会を創出することで、街づくりに興味を持つ若者が青年会議所の活動に触れ、共感頂くことで会員拡大にも繋がるものと考え、一年間青年会議所運動を展開してまいります。

スケジュール	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
例会主管					○			○				

# ■ 総務広報



担当副理事長 阿部 徹

総務広報委員会担当常任理事となりました。

LOMの活動や運動をより多くの方に発信できるように、対内紙「とびら」の毎月発行と内容の充実、SNS等を活用し、メンバーとの情報共有と活動情報の発信をメインに委員会一丸となるよう活動してまいります。

## 総務広報委員会事業計画書



担当副理事長	阿部 徹
担当委員長	浅野 裕美
担当副委員長	佐々木 豊
担当委員	高田 慎平

### ○ スローガン

「とびら」を開こう！ ～発信こそが理解を深める～

### ○ 基本方針

- ・メンバー間の理解を深める情報共有の強化
- ・対外への青年会議所活動認知度を高めるための情報発信の強化
- ・会員拡大の実践

### ○ 基本計画

- ・「とびら」で、メンバー間の情報共有を図り、青年会議所の結束を高める。
- ・青年会議所活動を市民に理解して頂くために、事業案内や事業報告等を SNS やホームページ地域メディアを活用し認知を高める。
- ・新年交賀会を通して、メンバー間の連結の強化、他 LOM 会員との交流を深める。
- ・釜石ブロック大会の自転車引き継ぎを成功させる。

### ○ 抱負

先輩達が築きあげた宝の一つである対内誌「とびら」を発行し広める事は、青年会議所の認知及び家族の理解、メンバーの増加に繋がると考え SNS や「とびら」で広く青年会議所の活動を発信していきます。青年会議所の活動を魅力的に発信し対内外の理解と協力が得られるように努め、「とびら」の発行が確固たる事業となるようシステムを確立し次に繋げます。

一年間宜しくお願い致します。

スケジュール	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
例会主管	○						○					

## ■ 会員拡大・会員開発



担当副理事長 小山 始彦

2017年度会員開発・会員拡大委員会担当副理事長を務めさせて頂く事となりました。  
2013年度の入会から、青年会議所活動や運動を通じ、様々な経験をさせて頂いております。  
諸先輩方やメンバーから学ばせていただいた多くを伝えることで、自己成長やメンバーの資質向上に繋がりたいという思いです。  
また、熊谷勝弥委員長、千葉晴一委員長を中心にメンバー一丸となって、青年会議所の魅力を伝播し、より多くの仲間を増やしていきたいと思っております。

### 会員拡大・会員開発委員会事業計画書



担当副理事長	小山 始彦
会員拡大担当委員長	千葉 晴一
会員開発担当委員長	熊谷 勝弥
担当副委員長	曾根 誉
担当委員	阿部 真岐
担当委員	伊勢田 奎

- スローガン

## 吹けよ新風

～確かな一歩へ 多くの同志とともに～

- 基本方針

#### 会員拡大

- ・他団体との交流、情報交換を通じ私たちの考えや魅力を最大限伝えることで会員拡大へ繋がります。
- ・委員の会員拡大へ向けた率先した取り組み

#### 会員開発

- ・研修会や勉強会を企画し、実施していくことで会員の知識、教養を高め新たな一歩へつなげます。
- ・委員の会員開発へ向けた率先した取り組み

- 基本計画

- ・卒業式、懇親会の企画・運営

#### 会員拡大

- ・青年会議所の魅力を対外へ発信し会員の拡大活動

- ・毎会議後の会員拡大に向けた情報収集と情報発信
- ・年間を通じた計画的な拡大活動
- ・新入会員認証式の設営

### 会員開発

- ・会員が一丸となって取り組む会員開発の為の例会の企画、運営
- ・アカデミー出向メンバーのサポート
- ・年間を通じた計画的な開発活動
- ・アテンダンスカードの作成

## ○ 抱負

### 会員拡大委員長

今後数年で卒業を向かえるメンバーが多く会員の減少により事業規模の縮小を余儀なくされると、これまでのような活動が困難になります。一関青年会議所が発信力ある組織として発展していくためには、会員拡大が必要不可欠であります。しかしながら今までのような個々の拡大活動には限界があり、今後は一関青年会議所全体で会員拡大に取り組む必要があると考えております。一関青年会議所全体で取り組むには、まずは新規候補者の選出や過去の入会候補者リストの精査を行い、事前調査・研究を徹底的に重ね、確実に入会に導くために候補者に適した最前の勧誘方法を考察いたします。拡大を一関青年会議所全体の課題ととらえ、拡大についてこれまで以上の情報共有や議論をする場を積極的に設けることで一関青年会議所全体の意識も高まり、今までのような個々の拡大活動から一関青年会議所全体の拡大活動へと変わり、より大きな成果が生まれます。

また、県南地域で活躍されている青年へ私たちの魅力を伝え、今年度は10名という目標を掲げ会員拡大に繋がる企画の運営に全力を注ぎ確かな一歩へ前進していきます。

### 会員開発委員長

この度会員開発委員会をやらせていただくにあたり、私自身入会したてで今だ、青年会議所とはどのようなものか青年会議所とは何をすべきなのか分かり切れておりません。だからこそ私自身が多くの事を学び、気づき、行動することで青年会議所を知り、研修会や勉強会を開催してメンバーに伝へ成長することで、私自身の一歩とし、メンバー一人一人の一歩が、一関青年会議所の新たな一歩に繋がると信じ、活動を行っていきたいと考えております。

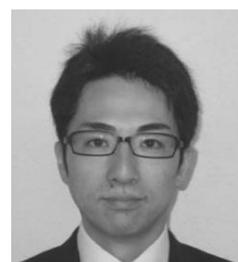
スケジュール	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
例会主管		○	○									○

## ■ 連携推進会議

担当常任理事・議長  
蜂谷 悠介



担当常任理事・副議長  
鈴木 陽介



### 連携推進会議事業計画書

担当議長 蜂谷 悠介  
担当副議長 鈴木 陽介  
担当議員 佐々木 朋和  
担当議員 小野寺 康  
担当議員 小山 始彦  
担当議員 平間 正宏  
担当議員 阿部 徹

○ スローガン

つながろう！

○ 基本方針

- ・ 会員拡大の実践
- ・ 岩手ブロック協議会や他 LOM との連携推進
- ・ 他団体と連携した事業の実施

○ 基本計画

通年

出向者との情報共有及びフォローアップ

UN MDGs 認知向上プログラムの推進・実施の検討

4月例会

「JC カップ U-11 少年少女サッカー全国大会の一関予選大会」開催の検討

- \* 岩手ブロック協議会と連携した事業の企画、運営
- \* 他団体と連携した事業の検討
- \* オブザーバーの参加推進

## 9月例会

「東北青年フォーラム」への参加推進並びに開催地 LOM との連携

\*他 LOM との交流促進

\*オブザーバーの参加推進

## その他

公開討論会開催の検討

## ○ 抱負

2015年に60周年記念式典、2016年にブロック大会 in 一関と2年続けて対外へ一関を発信する大きな事業を開催し、LOMの一体感は強まり、岩手ブロック協議会や他LOMとの関わりは、より身近になりました。この良い流れは、私たちの資質向上に繋がり、明るい豊かな社会の実現に向けて主体的に取り組む気概を育みました。当会議は、岩手ブロック協議会や他LOMとの「つながり」を確かなものにするために、岩手ブロック協議会と連携した事業や他LOMとの交流事業を各委員会の枠を越えた全体事業として実施し、他LOMメンバーとの絆を創出すると共に、組織力の強化に繋がります。

スケジュール	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
例会主管				○					○			

## ■事務局

担当専務理事  
佐々木 朋和



担当事務局長  
千葉 太郎



担当専務理事 佐々木朋和  
担当事務局長 千葉 太郎  
担当事務局次長 熊谷 康

## ■監事



監 事  
佐藤 哲

監事をご指名頂き、その重責を強く感じると共に自覚をもって努めさせて頂く所存でございます。私は、長き年月を一関青年会議所メンバーとして過ごしてまいりました。様々な事業で学んだことや、多くの先輩方からご指導いただいた経験を活かし、私なりにメンバーに伝え、どこにも属さない監事という立場でメンバーと関わってまいります。ラストイヤーである一年間、最後まで一関青年会議所をそして、地域を盛り上げるべく邁進いたします。



外部監事  
鈴木 哲

2017年度外部監事を務めることになりました。私自身は2015年度に卒業していますので、また1年間、一関青年会議所のみんなと共に活動できること嬉しく思います。初めての外部監事という役割ですが、誠心誠意務めますので、どうぞ1年間よろしくお願ひします。

## ■ ブロック出向常任理事



足利 哲也

(公社) 日本青年会議所 東北地区 岩手ブロック協議会 ブロック大会運営委員会担当副会長

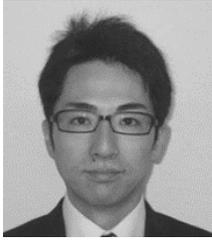
2017年度は岩手ブロック協議会副会長の役職で出向させていただきます。担当はブロック大会運営委員会。2015年度は委員長として出向させていただき、2016年度は開催地理事長として経験した様々なものを活かし、昨年度に様々な方々からいただいた恩を少しでも返していけるよう微力を尽くして頑張っております。



平間 正宏

(公社) 日本青年会議所 東北地区 岩手ブロック協議会 連携推進委員会担当委員長

今年度、岩手ブロック協議会連携推進委員会委員長として出向させていただきます。役員としての出向は初めてでありとても緊張と不安がいっぱいです。早くも予定者会議等の参加をさせて頂いておりますが、今年度より800字の所信が変わり委員会の1年間の総合戦略の作成をしなければならなくなり、事業内容の理解が乏しい中、とても苦勞しております。議案書、予算書1つにしても必要な書類や作成方法等LOMでは行っていない事項も多いことからとても苦戦をしております。また、委員会として憲法輿論や会員拡大等多くが日本本会や東北地区協議会との連携した事業となっておりますので、ブロック協議会としてしっかりとした運動が発信できるよう務めてまいります。出向は私の成長だけではなく、私が学んだことをしっかりLOMへ落とし込み、一関のメンバーがブロック協議会に出向したと思って頂けるよう、1年間を通して学び、発信をさせていただきます。1年間宜しくお願い致します。



鈴木 陽介

(公社)日本青年会議所 東北地区 岩手ブロック協議会 連携推進委員会運営幹事

2016 年度に引き続き、岩手ブロック協議会へ出向させていただきます。連携推進委員会では、当 LOM から出向する平間正宏委員長のもと、JC カップ岩手予選大会、憲法タウンミーティングなど、ボリュームミナ事業を担当する予定となっております。LOM の中では連携推進会議副議長ということで、同じく JC カップ一関予選大会を担当する予定でもありますので、平間委員長を支えながら、ブロックと LOM の橋渡し役として努めて参りたいと思います。特に、平間委員長が、お一人で事業準備を抱え込むことのないよう幹事として、委員会に配属される他 LOM メンバーへ交流を深めて声掛けを実施して参ります。

# 報 告 編

## 〈2016 年度理事長報告〉



一般社団法人一関青年会議所  
2016 年度理事長 足利哲也

2016 年度は「新しき一步を踏み出す開拓者たれ」のスローガンのもと、地域の皆様、OB 先輩の皆様、各地青年会議所の皆様、様々な方々のご指導、ご協力をいただきながらメンバーと歩んでまいりました。様々なことがありましたが、無事に次年度へと歩みを進めることができ、新しい年がスタートすることができました。昨年度中お世話になった方々に対し、心より感謝申し上げます。

岩手ブロック協議会との調整、そして7月に行われた本大会の準備、大交流会の企画、設営では、来場したすべての人を笑顔にし、一関流のおもてなしを体現してくれたブロック大会実行委員会。40 回目となる二代目時の太鼓大巡行ではたくさんの引き手の子供たちに参加を促し、様々な方たちと一体感を体現した夏まつり委員会。一関市内の子供たちに自分たちの住む地域の魅力をトレジャーハンティングという新しい手法で伝え、郷土愛を育む機会を創造した青少年育成委員会。新年交賀会から始まり、HP、SNS の管理、会員の交流、そして、東北青年フォーラムを例会としてメンバーの参加を促し、活動、運動の楽しさを周知してくれた総務広報委員会。メンバーの資質の向上に努め、卒業式では、盛大に卒業生を見送るべく様々な企画をし、一関青年会議所の活動を陰ながら支え寄与してくれた事務局。そして、副理事長、専務理事、監事には、様々な場面で、補佐していただき、厳しく、そして温かく支えていただきました。

2016 年度は自分に一つのテーマを掲げてまいりました。それは、ご案内いただいた、各種催し、関係諸団体の総会、会議の開催案内すべてに、案内が重ならない限り出席するということでした。実際は仕事の都合で欠席したことも数回ありました。それでも、こんなにも様々な諸団体に参画し、地域の発展に寄与してきたのかと、驚きの一年でした。また、そこで出会う方々との交流もいろいろと刺激になることが多く、とても貴重で濃厚な時間を過ごさせていただきました。

予定者の段階から始まり、これまでの1年5 か月はずっと自問自答の日々でした。60 年つづいてきた一関青年会議所の理事長という大役を仰せつかり、自分に何ができるのか、地域のため、未来のために礎となれているのか、一関青年会議所のため、メンバーのためになっているのか、ずっと自分に問いかけてきました。その答えは自分の中では出ておりません。ですが、メンバーに支えられ、いたらないところを補っていただきながら 2016 年度を完走することができました。

この1年間で得た様々な経験を活かし、地域のため、そして、未来のため常に新しいことに挑戦し、そして開拓していきたいと思えます。2016 年度にお世話になったすべての皆様に感謝と敬意を表します。ありがとうございました。

## 〈2016 年度会務報告〉

1月 日	行事内容	場所	時間	対応者
1日				
2日				
3日				
4日				
5日				
6日				
7日				
8日				
9日	1月例会新年交賀会	ベリーノ		
10日				
11日				
12日				
12日				
13日				
14日	第1回常任理事会			
15日				
16日				
17日				
18日				
19日				
20日	アカデミー壮行会		18:00~19:00	足利哲也 小山始彦
21日	第2回 夏まつり委員会	もんど	19:00~21:00	阿部徹 熊谷康
22日	京都会議			足利哲也 小山裕貴
23日	第1回 青少年育成委員会	ルーム	18:30~21:00	佐々木朋和 鈴木陽介 小山始彦 蜂谷悠介 中村雄介
24日	京都会議			
25日	一関商工会議所新年交賀会	ベリーノ	18:30~21:00	足利哲也
26日	第1回理事会	なのはなプラザ		
27日	陸前高田青年会議所新年交賀会		18:30~21:30	
28日	カシオペア青年会議所新年交歓会		18:30~21:30	
29日	宮古青年会議所新年交賀会		18:30~19:30	
30日	JCOB新年会	豊隆会館	17:00~18:00	足利哲也 佐々木朋和 平間正宏 阿部徹 小山裕貴
31日	釜石青年会議所		18:30~19:30	

2月 日	行事内容	場所	時間	対応者
1日	第2回青少年育成委員会	ルーム	19:00~22:00	佐々木朋和 鈴木陽介 小山始彦 畠山武将 阿部諭
2日	第2回ブロック大会実行委員会			
3日	第2回ブロック大会実行委員会			
4日	総務広報委員会		17:00~18:00	
5日	一関商工会女性会新年会		18:00~20:00	足利哲也 小山裕貴
6日	第1回総務広報委員会		13:00~15:00	曾根誉 阿部勇太 小山裕貴
7日	月例会 岩手ブロック協議会新春のつど	北上	10:00~19:30	
8日	第2回 常任理事会議	もんど	17:00~21:00	
9日				
10日	第4回商工祭プロジェクト委員会	一関市市役所	15:00~16:00	足利哲也

11日	大原水かけ祭	大東町大原		足利哲也 佐藤哲 佐々木朋和 平間正宏 阿部徹 千葉太郎 小山裕貴
	一関中央ライオンズクラブ888回例会	サンルート	18:30~18:30	齋藤賢
12日				
13日				
14日				
15日	ブロック大会実行委員会打合わせ		17:00~19:00	平間正宏 千葉太郎
16日	第3回青少年育成委員会	ルーム	19:30~22:00	足利哲也 佐々木朋和 鈴木陽介 小山始彦 畠山武将 阿部諭
	希望郷いわて国体・大会一関市実行委員会第6回総務企画専門委員会	一関地区合同庁舎	9:00~11:30	足利哲也
17日	点を線に興す、同世代異業種交流会	てんぼろ荘 三浦康太郎邸 滝沢宇泥畑22	13:00~16:00	足利哲也
	第10回 企業情報交換会inいちのせき	ベリーノ	16:00~19:00	足利哲也
18日				
19日	全国地ビールフェス一関実行委員会 総	なのはなプラザ	14:00~15:00	足利哲也
	ブロック大会実行委員会		19:00~22:00	小野寺康 平間正宏 千葉太郎 太田耕平
	事務局委員会		19:00~21:00	佐々木豊 加藤圭一郎 小山裕貴
20日				
21日	第2回総務広報委員会		13:00~14:00	菅根誉 阿部勇太 小山裕貴
	時の太鼓顕彰会 創立40周年記念コンサート	一関文化センター大ホール	13:30~16:00	足利哲也
22日				
23日				
24日	第2回理事会	なのはなプラザ	19:30~21:00	
25日				
26日	H27年度岩手日日文化賞 贈呈式	ベリーノ	13:30~14:30	足利哲也
27日	第2回会員会議所会議	大船渡市	14:00~18:00	足利哲也
	商工会議所青年部 新春講演会	ベリーノ	18:30~20:30	小山裕貴
28日	青少年育成委員会4月例会下見		12:30~16:30	
29日				

3月 日	行事内容	場所	時間	対応者
1日	第4回青少年育成委員会	ルーム	19:30~22:00	足利哲也 佐々木朋和 鈴木陽介 小山始彦 畠山武将 阿部諭 新島佳伊
	第2回副委員長会	なのはなプラザ	12:00~13:00	小山始彦 千葉太郎 阿部勇太 熊谷康 小山裕貴
2日				
3日	(夏まつり委・副委員長)一関夏まつり実行委員会 第4回総務広報部会	一関商工会議所 3F 会議室	10:30~11:30	足利哲也

	一関もち食推進会議(総会・講演会)並びに懇親会	【総会・記念講演会】一関図書館 学習室 【交流懇親会】大手門 海石榴 (一関文化センター2F)	15:00~19:30	足利哲也
	第3回夏まつり委員会	もんど	19:00~21:00	佐藤哲 阿部徹 熊谷康 佐藤大樹
4日	一関市民活動センター10周年記念フォーラム	なのはなプラザ	14:00~17:30	足利哲也
	岩手県南史談会「一関文化賞」受賞記念祝賀会	サンルート	16:00~18:00	足利哲也
	呑気塾	ベリーノ	19:00~21:00	
5日	第一講座	盛岡グランドホテルアネックス		足利哲也
6日	第一講座	盛岡グランドホテルアネックス		足利哲也
7日				
8日				
9日	第3回常任理事会		19:00~21:30	
10日	第3回ブロック委員会	北上市	19:00~21:30	小野寺康 平間正宏 千葉太郎 太田耕平
11日				
12日				
12日				
13日				
14日	副委員長会議		12:30~14:30	小山始彦 千葉太郎 阿部勇太 熊谷康 小山裕貴
	ブロック大会運営委員会		19:00~22:00	
15日	一関市倫理法人会モーニングセミナー講話	サンルート	18:10~18:55	足利哲也
16日	第35回一関国際ハーフマラソン大会実行委員会 総会	一関市総合体育館 会議室	10:00~11:00	足利哲也
	第5回青少年育成委員会	ルーム	19:30~22:00	鈴木陽介・小山始彦・蜂谷悠介・新島佳伊
17日				
18日	3月例会		19:00~21:30	
19日				
20日				
21日				
22日	第6回青少年育成委員会	もんど	19:00~23:30	菅原公正 佐藤哲 佐々木朋和 小山裕貴 鈴木陽介 小山始彦 蜂谷悠介 畠山武将 阿部諭
23日	なのはなプラザ 消防訓練	なのはなプラザ	10:30~11:00	
	第3回理事会	社務所	19:30~23:00	
24日				
25日				
	日本JC斎藤副会頭との懇談会	新宿 玄海本店	19:00~21:00	足利哲也

	総務広報委員会		19:00~21:30	曾根誉 佐藤泰洋 阿部勇太 小山裕貴
26日	入会候補者声かけキャンペーン			
	日本JC 第151回 総会	東京ビッグサイト(東京 国際展示場) 7F 国際会議場	12:00~16:45	足利哲也
27日				
28日				
	第7回青少年育成委員会	ルーム	19:30~22:00	鈴木陽介 佐々木朋和 小山始 彦 蜂谷悠介 阿部諭
29日				
30日				
31日				

4月 日	行事内容	場所	時間	対応者
1日	ブロック大会合同会議	ルーム	17:00~22:00	足利哲也 小野寺康 平間正宏 千葉太郎 小山裕貴
2日	第3回会員会議所会議	カシオペア		足利哲也
3日				
4日				
5日	第4回夏まつり委員会	もんど	19:00~22:00	佐藤哲 阿部徹 熊谷康 熊谷 勝弥
6日				
7日	第1回夏祭りポスター会議	商工会議所	10:30~11:30	徹、康
	IBCラジオ収録	なのはなプラザ	12:00~15:00	足利哲也 小山裕貴
	第4回常任理事会	もんど	19:30~24:00	
8日	青少年 補助金申請			
	あっぱれ新・東北3つの夢 成就祝賀 パーティー	八戸プラザホテ ル	14:00~23:00	足利哲也 小山裕貴
9日	アカデミ-第2講座			足利哲也
10日				
11日	ブロック大会実行委員会		19:00~22:00	足利哲也 小野寺康 平間正宏 千葉太郎 太田耕平
12日	第4回ブロック役員会議			
	青少年 スポーツ吹矢打合せ	ルーム	13:00~14:00	鈴木陽介 佐々木朋和
	第8回青少年育成委員会	ルーム	19:30~22:00	鈴木陽介 佐々木朋和 小山始 彦 畠山武将
13日	第2回夏祭りポスター会議	なのはなプラザ	10:30~11:30	阿部徹徹 熊谷康
	花巻青年会議所 ブロック大会PR	花巻商工会議所	18:30~19:30	
14日	副委員長会		12:00~14:00	小山始彦 千葉太郎 阿部勇太 熊谷康 小山裕貴
15日	希望郷いわて国体・大会一関市実行委 員会第4回総会	ベリーノ	11:00~12:00	足利哲也
	一関・平泉パルソフェスティバル実行委員会 実行委員の委嘱並びに総会	一関市市役所	14:00~15:30	足利哲也
	若手リーダー懇親会		18:00~18:30	
	江刺青年会議所 ブロック大会PR	江刺商工会議所	18:45~19:45	

16日	北上青年会議所 ブロック大会PR	プランニュー北上	12:30~13:30	
17日	久慈青年会議所 ブロック大会PR	やませ風土館	12:00~13:00	
18日	八幡神社例大祭		10:00~15:00	足利哲也
19日	一関もち食推進会議	なのはなプラザ	15:30~17:00	足利哲也
	第9回青少年育成委員会	ルーム	19:00~22:00	鈴木陽介 佐々木朋和 小山始彦 蜂谷悠介 畠山武将 中村雄介 新島佳伊
	第5回夏祭り委員会	もんど	19:00~20:00	佐藤哲 阿部徹 熊谷康 佐藤大樹
20日	盛岡青年会議所 ブロック大会PR			
	総務広報委員会		19:00~21:00	曾根誉 佐藤泰洋 阿部勇太 小山裕貴
	ブロック大会実行委員会	ルーム	19:00~21:00	小野寺康 千葉太郎 平間正宏
	商工会議所青年部一関支部定時総会	ペリーノ	19:30~21:00	足利哲也
21日	第4回理事会		19:30~21:00	
22日				
23日	青少年育成委員会4月例会前日準備	ルーム	11:00~14:00	鈴木陽介 小山始彦
	観桜会	松竹食堂	18:00~21:00	足利哲也
24日	4月例会、市役所プレゼン			
25日				
26日	第10回青少年育成委員会	ルーム	19:00~22:00	鈴木陽介 佐々木朋和 小山始彦 畠山武将
27日	一関市民憲章推進協議会 H28総会	保健センター	14:00~16:00	足利哲也
	商工会青年部 H28定時総会 懇親会	東山げいびレストハウス	19:45~20:45	足利哲也
28日	例会 ブロック大会 勉強会		19:00~21:30	
29日				
30日	第4回会員会議所会議	水沢	13:00~19:00	足利哲也

5月 日	行事内容	場所	時間	対応者
1日				
2日				
3日				
4日				
5日				
6日				
7日	第6回夏祭り委員会	もんど	19:00~21:00	阿部徹 熊谷康 熊谷勝弥
8日				
9日	釜石青年会議所 ブロック大会PR			
	陸中宮古青年会議所 ブロック大会PR			
10日	第5回ブロック役員会議		21:00~23:00	
	第5回常任理事会		19:00~21:00	
11日	会頭公式訪問	盛岡すずせん		足利哲也
12日				
13日	東北地区協議会役員会	北上市生涯学習センター	12:00~17:00	足利哲也
14日				

15日	大船渡青年会議所ブロック大会PR			
16日	カシオペア青年会議所ブロック大会PR			
17日	第11回青少年育成委員会	ルーム	19:00~22:00	鈴木陽介 佐々木朋和 小山始彦 蜂谷悠介
	第3回夏祭りポスター会議	なのはなプラザ	15:00~16:00	阿部徹 熊谷康
	一関夏祭り 第1回幹事会	一関商工会議所	15:00~16:00	足利哲也 阿部徹
18日	夏祭り委員会		19:00~22:00	
19日				
20日	修紅短大、一関高専事前打合せ		11:00~13:30	鈴木陽介 佐々木朋和 蜂谷悠介
	副委員長会		12:30~15:00	小山始彦 千葉太郎 阿部勇太 熊谷康 小山裕貴
	ブロック大会実行委員会	ルーム	19:00~22:00	小野寺康 千葉太郎 浅野裕美 千葉晴一 太田耕平 平間正宏
21日	日本移動理事会			足利哲也
22日	江刺青年会議所 ブロック大会PR			
23日	青年育成委員会大原地区下見		10:00~12:00	鈴木陽介 佐々木朋和 小山始彦
	第7回夏祭り委員会	もんど	19:00~21:00	阿部徹 熊谷康 熊谷勝弥
	商工会一関市拠点駅推進協議会定時総会	世嬉の一酒造	16:00~17:00	足利哲也
	一関夏まつり実行委員会 総会	世嬉の一酒造	17:00~19:00	足利哲也 阿部徹
	第12回青少年育成委員会	ルーム	19:30~22:00	鈴木陽介 佐々木朋和 小山始彦 蜂谷悠介
24日	陸前高田青年会議所 ブロック大会PR			
25日				
	岩手ブロック協議会主催合同ゴルフコンペ		9:00~17:00	足利哲也 太田耕平 小山始彦 曾根誉 小山裕貴
26日				
27日	法人会青年部 H28定時総会	サンプラザ及	17:30~20:00	足利哲也
28日	第5回会員会議所会議	一関		
29日				
30日	第5回理事会	なのはなプラザ	12:30~15:30	

6月 日	行事内容	場所	時間	対応者
1日	青少年育成委員会決起集会	タブラ	19:00~	鈴木陽介 佐々木朋和 小山始彦 蜂谷悠介 中村雄介 畠山武将 阿部諭 新島佳伊
2日	第8回夏祭り委員会	もんど	19:00~21:00	阿部徹 熊谷康 熊谷勝弥 佐藤大樹
	アジア・太平洋地域会議 高尾大会			
3日	修紅短大依頼文持参	現地	15:00	鈴木陽介
	アジア・太平洋地域会議 高尾大会			足利哲也 小山裕貴
	ブロック大会実行委員会	ルーム	19:00~22:00	小野寺康 千葉太郎 浅野裕美 千葉晴一 太田耕平 平間正宏
4日	アジア・太平洋地域会議 高尾大会			足利哲也 小山裕貴
5日	アジア・太平洋地域会議 高尾大会			足利哲也 小山裕貴
6日	一関高専依頼文持参	現地	15:00~	鈴木陽介
	ブロック大会実行委員会	ルーム	19:00~22:00	小野寺康 千葉太郎 浅野裕美 千葉晴一 太田耕平 平間正宏
7日				

9日	第13回青少年育成委員会	ルーム	18:00~	鈴木陽介 佐々木朋和 小山始彦 中村雄介 畠山武将 阿部諭 新島佳伊
	第6回常任理事会		19:00~21:00	
	子供みこし役員会	なのはなプラザ	19:00~21:00	足利哲也 阿部徹 熊谷康 熊谷勝弥 佐藤大樹
10日	第6回ブロック役員会議			足利哲也
11日	第33期いわてJAYCEEアカデミー第3講座	ホテル千秋閣		足利哲也
12日	ふるさと分校下見	現地	11:00~	鈴木陽介 畠山武将
12日				
13日	県知事と意見交換会	ホテルメトロポリタン ニューウイング	16:30~20:00	足利哲也 佐々木朋和 菅原公正 小山裕貴
14日	第14回青少年育成委員会	ルーム	19:00~	鈴木陽介 蜂谷悠介 小山始彦 阿部諭
15日				
16日	一関もち食推進会議	なのはなプラザ	10:00~11:30	
17日	第9回夏祭り委員会	もんど	19:00~21:00	阿部徹 熊谷康 熊谷勝弥 佐藤大樹
18日	6月例会			
19日				
	木札つくり	遊水地公園	11:00~15:00	佐藤哲 阿部徹 平間正宏 小山始彦 菅原公正 加藤圭一郎
	陸中宮古青年会議所 創立45周年式典		13:00~17:30	足利哲也 小山裕貴
20日				
21日	参議院選挙公開討論会		19:00~21:00	足利哲也 千葉太郎 小山裕貴
	第15回青少年育成委員会	ルーム	19:30~	鈴木陽介 小山始彦 畠山武将 阿部諭
22日				
23日				
24日	南いわて食産業クラスター形成ネットワーク『一関・平泉地域グループ ミーティング』	世嬉の一酒造		足利哲也
25日	ブロック大会実行委員会	ルーム	19:00~22:00	小野寺康 千葉太郎 浅野裕美 千葉晴一 太田耕平 平間正宏
26日	第6回会員会議所会議			足利哲也
27日	第65回一関夏まつり 第1回事業部会	一関商工会議所	13:30~15:00	
	一関高専顔合わせ	現地	14:30~	鈴木陽介 中村雄介
	一関観光協会H28通常総会	サンルート	16:00~18:30	足利哲也
28日	第67回一関地方産業まつり 商工祭プロジェクト委員会(+委員の推薦)	保健センター	15:00~16:00	足利哲也
	第6回理事会		19:30~22:00	
29日				
30日	第16回青少年育成委員会	京屋	20:00~	鈴木陽介 佐々木朋和 蜂谷悠介

7月 日	行事内容	場所	時間	対応者
1日				
2日	第33回いわてJAYCEEアカデミー第4講座	つなぎ温泉ホテル愛真館	12:30~24:00	足利哲也

3日	第33回いわてJAYCEE7かてミ-第4講座	つなぎ温泉ホテル愛真館	24:00~11:45	足利哲也
	岩手ブロックU-11少年少女サッカー全国大会 岩手ブロック予選大会	花巻市スポーツキャンプむら	8:00~17:00	足利哲也 曾根誉
4日	第10回夏祭り委員会	もんど	19:00~21:00	阿部徹 熊谷康 熊谷勝弥 佐藤大樹
5日	ブロック大会実行委員会	ルーム	19:00~22:00	小野寺康 千葉太郎 浅野裕美 千葉晴一 太田耕平 平間正宏
	H28国立岩手病院あすなる総会	一関市役所	14:30~17:00	足利哲也
6日	子供七夕みこし総会	一関文化センター	18:00~19:00	足利哲也 阿部徹 熊谷康 熊谷勝弥 平間正宏 小山始彦
7日				
8日	7月例会岩手ブロック大会in一関事前準備			
9日	7月例会岩手ブロック大会in一関			
10日	7月例会岩手ブロック大会in一関 片付け			
11日	第1回一関・平泉バルーンフェス実行委員会	一関市役所		足利哲也
12日	第17回青少年育成委員会	ふらり	19:30~	鈴木陽介 佐々木朋和 小山始彦 中村雄介 阿部諭 島山武
12日				
13日	常任理事会		19:30~22:00	
14日				
15日				
16日	サマーカンファレンス			足利哲也 小山裕貴
17日	サマーカンファレンス			足利哲也 小山裕貴
	山車床補修	光成工業	10:00~14:00	メンバー15名
18日				
19日	大原現地下見	ルーム~現地	14:45~	鈴木陽介 小山始彦 蜂谷悠介 中村雄介 阿部諭 島山武将 ボランティア2名(千葉梨佳 小野寺玲矢)
20日	一関もち食推進会議	なのはなプラザ	10:00~11:30	足利哲也
21日	調理試作1回	一関市民センター	16:30~	鈴木陽介・小山始彦 阿部諭 島山武将 ボランティア2名(千葉梨佳 小野寺玲矢)
22日	第65回一関夏まつり 第2回事業部会	梅茂登	17:30~18:30	足利哲也
23日	岩手県南史談会 総会	一関図書館	9:00~12:00	足利哲也
24日				
25日				
26日	第18回青少年育成委員会	ルーム	19:30~	鈴木陽介 佐々木朋和 小山始彦 蜂谷悠介 阿部諭 島山武
27日	第2回商工祭プロジェクト委員会	保健センター	15:00~16:00	足利哲也
28日	第7回理事会		19:30~21:30	
29日	第11回夏祭り委員会	もんど	19:00~21:00	阿部徹 熊谷康 熊谷勝弥 佐藤大樹
	ブロック大会実行委員会	ルーム	19:00~20:30	小野寺康 千葉太郎 浅野裕美 千葉晴一 太田耕平 平間正宏
30日				

31日	岩手ﾌﾞﾛｯｸCｶｯﾌﾟ U-11少年少女サッカー全 国大会 岩手ﾌﾞﾛｯｸ東北地区大会	山形県酒田市 内	8:00~17:00	
-----	---	-------------	------------	--

8月 日	行事内容	場所	時間	対応者
1日	水天宮神事	水天宮	13:00	メンバー10名
2日	第19回青少年育成委員会	ルーム	19:30~	鈴木陽介 佐々木朋和 蜂谷悠介
	夏まつりアスモ出演	アスモ	11:00~	阿部 徹
3日	お天気まつり	世嬉の一	18:30~	メンバー18名
4日	新笹ノ田トンネル整備促進期成同盟会 創立総会	大原公民館	10:20~10:50	足利哲也
5日	第65回一関夏まつり 開会式	夏祭り本部前	13:00~14:00	足利哲也
	第66回一関七夕まつり 審査委員委嘱・審査 会	一関商工会議 所	14:30~17:30	足利哲也
6日	第40回二代目時の太鼓大巡行		8:00~	メンバー20名
	【参加依頼】ひろのび~サッカーフェスティバル	たねいち海浜公 園	8:00~10:00	
	第44回くるくる踊り大パレード		17:20~18:20	足利哲也
7日	第44回子供七夕みこし		8:00~	メンバー15名
	一関神輿連合会 大一関神輿祭 出 発式	一関文化セン ター	12:00~13:00	足利哲也
	一関夏まつり 手筒煙火放揚	磐井川河川公 園山目側	19:00~20:00	足利哲也
8日	H28暴力団追放一関地方会議総会	一関文化セン ター	14:00~15:00	
9日	第8回常任理事会		19:00~21:00	
10日	第7回ブロック役員会議			
11日	JC野球大会 岩手ﾌﾞﾛｯｸ大会			足利哲也 曾根誉
12日				
12日				
13日				
14日				
15日				
16日				
16日				
17日	チラシ配布作業			佐々木朋和 畠山武将
18日	チラシ配布作業			小山始彦 中村雄介 蜂谷悠介 阿部諭
19日	チラシ配布作業			佐々木朋和 阿部諭 阿部真岐
20日	磐井川聖観音『還座式』	磐井川堤防		
	地び~フェスティバル開会式	一関文化セン ター	10:30~11:30	
21日				
22日				
23日	理事会		19:30~22:00	
24日	事業告知	一関市役所		佐々木朋和 蜂谷悠介 畠山武将
24日	第20回青少年育成委員会	ルーム	19:30~	佐々木朋和 小山始彦 蜂谷悠介

25日				
26日				
27日	会員会議所会議	盛岡		足利哲也
28日				
29日	大原現地挨拶	現地	13:00～	佐々木朋和・鈴木哲 (OB)
30日	事業告知 (アスモ)	アスモ		蜂谷悠介・畠山武将
31日	第12回夏祭り委員会	もんど	18:30～	阿部徹・熊谷康・熊谷勝弥

9月 日	行事内容	場所	時間	対応者
1日	第21回青少年育成委員会	京屋	19:30～	鈴木陽介 佐々木朋和 小山始彦 蜂谷悠介 阿部諭 中村雄介 畠山武将
	岩手7700Cup U-11少年少女サッカー全国大会	大阪府堺市		足利哲也 曾根誉
	ブロック大会実行委員会	ルーム	19:00～22:30	小野寺康 千葉太郎 浅野裕美 太田耕平 平間正宏
2日				
3日	9月例会 東北青年フォーラム	登米		メンバー15名
4日	東北青年フォーラム	登米		足利哲也
5日				
6日	常任理事会		19:00～11:30	
7日				
8日				
9日				
10日				
11日				
12日				
12日				
13日				
14日	第2回一関・平泉ハーフマラソン大会実行委員会	一関市市役所		足利哲也
15日	一関八幡神社例大祭	神社拝殿	10:00～11:00	足利哲也
16日	プレトレジャーハンティング	現地	13:15～	足利哲也、小野寺康・小山裕貴 鈴木哲 (OB) 鈴木陽介 佐々木朋和 小山始彦 畠山武将 阿部諭
16日	第21回青少年育成委員会	ルーム	19:30～	鈴木陽介 佐々木朋和 小山始彦 阿部諭 畠山武将
17日	第35回一関国際ハーフマラソン大会役員委嘱・開会式レセプション	ベリーノ	16:30～17:30	足利哲也
18日	第35回一関国際ハーフマラソン大会			足利哲也
19日				
20日				
21日				
22日				
23日	定時総会		19:00～21:30	
24日	会員会議所会議	遠野	14:00～15:00	足利哲也
25日				
26日				

27日	一関夏まつりの踊りの在り方について (懇談会)		16:00~17:00	足利哲也
	第22回青少年育成委員会	ルーム	19:00~	鈴木陽介 小山始彦 蜂谷悠介 阿部諭
28日	山吹城草刈り	現地	6:00~	足利哲也 平間正宏 鈴木陽介 佐々木朋和 蜂谷悠介
	第9回理事会		19:00~21:00	
29日	一関もち食推進会議		10:00~11:30	足利哲也
	第23回青少年育成委員会	ルーム	19:00~	鈴木陽介 佐々木朋和 蜂谷悠介 阿部諭 畠山武将
30日	第24回青少年育成委員会	ルーム	17:00~	鈴木陽介 佐々木朋和 小山始彦 阿部諭 畠山武将 中村雄介
31日				

10月 日	行事内容	場所	時間	対応者
1日	10月例会			
2日	10月例会			
3日	一関・平泉パルンフェスティバル実行委員会	一関市役所	10:30~12:00	足利哲也
4日	夏祭り報告会	世嬉の一	17:00~	足利哲也 阿部徹
5日				
6日				
7日	全国大会			足利哲也
	日本JC第152回総会	広島国際会議 場フェニックスホール	13:30~15:30	足利哲也
8日	全国大会			足利哲也
	第33回わんぱく相撲全国大会 参加説明会		11:00~12:00	足利哲也
9日	全国大会			足利哲也
	第65回全国大会(広島)2017専務理事予定者セミナー	広島国際会議 場ヒマワリ	9:00~10:00	足利哲也
	第65回全国大会(広島)2017理事長予定者セミナー	広島国際会議 場フェニックスホール	9:00~10:00	足利哲也
	第12回夏祭り委員会	もんど	18:30~	阿部徹 熊谷康 熊谷勝弥 佐藤大樹
10日	全国大会			足利哲也
11日				
12日				
12日				
13日	H28暴力団追放一関大会	藤沢文化センター	13:30~15:30	足利哲也
14日	バルーンフェスタ			足利哲也
15日				
16日				
16日				
17日				
18日				
19日				
20日	第25回青少年育成委員会	ルーム	18:30~	鈴木陽介 佐々木朋和 蜂谷悠介 畠山武将 ボランティア2名
21日				

22日	会員会議所会議	江刺		足利哲也
	商工祭			
	第55回会員全国大会郡山大会10周年記念式典	郡山ビュートホテル		足利哲也
23日	商工祭			
24日				
25日	一関もち食推進会議	なのはなプラザ		足利哲也
26日				
27日				
28日	H28岩手暴力団追放県民大会・宮古地区大会	宮古市民文化会館		足利哲也
29日				
30日	世界会議			足利哲也
	【OB会】いも煮会・じゃがいもゴルフコンペ・浜ちゃんカップ	かぶらや	18:00~19:00	メンバー9名
31日	世界会議	カタケック		足利哲也

11月 日	行事内容	場所	時間	対応者
1日	世界会議	カタケック		足利哲也
2日	世界会議	カタケック		足利哲也
3日	世界会議	カタケック		足利哲也
4日	世界会議	カタケック		足利哲也
5日				
6日				
7日				
8日				
9日	H28一関市民憲章推進大会	花泉総合福祉センター		足利哲也
	第11回常任理事会	もんど		
10日				
11日				
12日	日本JC2017出向説明会in東北	迎賓館グランプラス		平間正宏
12日				
14日				
14日				
15日				
16日				
16日				
17日	青年団体意見交換会	商工会議所	16:00~17:00	足利哲也 菅原公正
18日				
19日	日本JC 第10回理事会並びに第10回7ヶ月会長会議	熊本市立白川中学校体育館		
20日				
21日				
22日	第26回青少年育成委員会	ルーム	19:30~	鈴木陽介 佐々木朋和 富山武将 中村雄介
23日				
24日	一関地区法人会 小友康広氏 講演会	サンルート	16:00~18:00	足利哲也

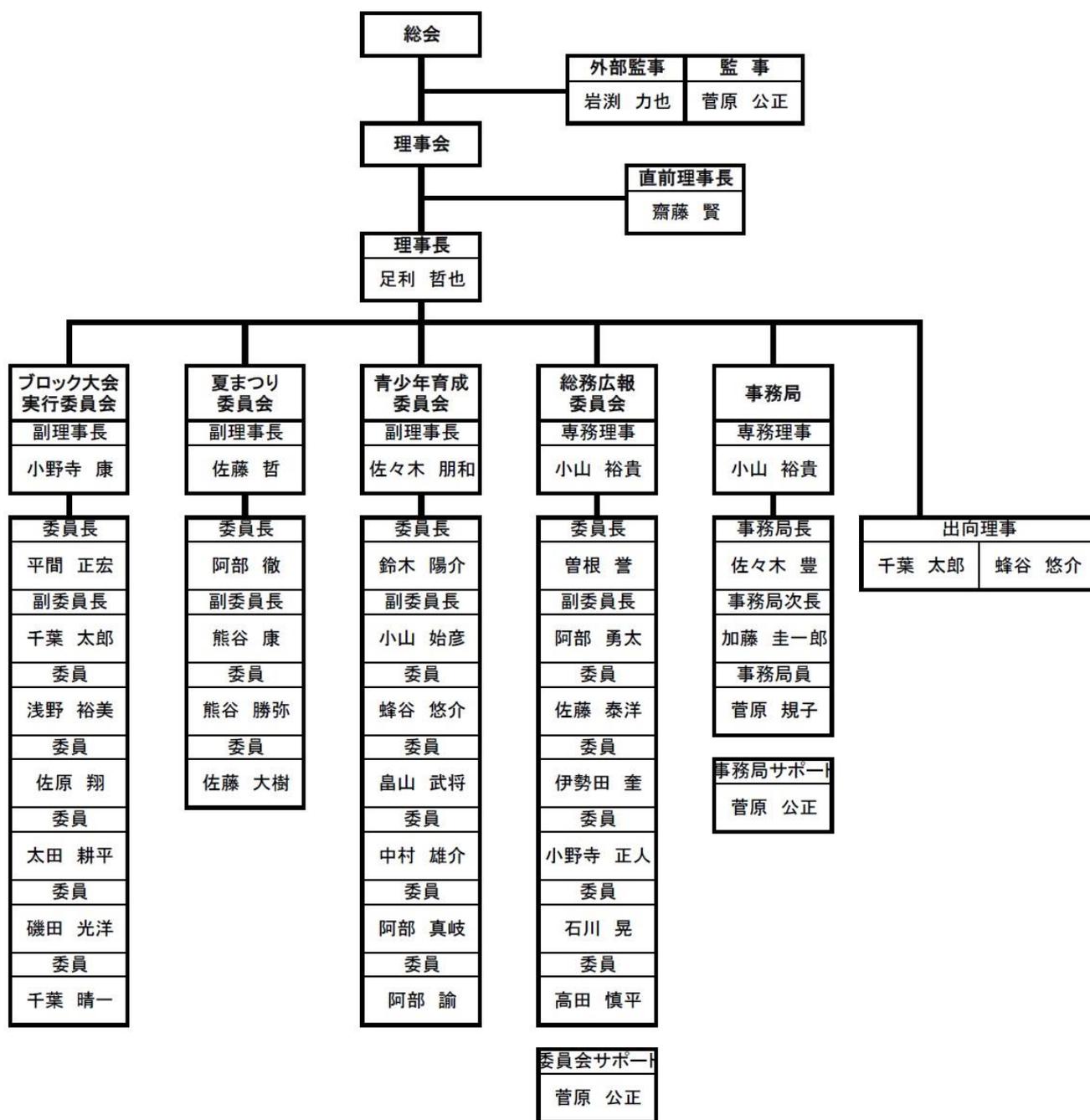
25日	第11回理事会	なのはなプラザ		
26日				
	みちのくワークショップ フォーラム 2016	なのはなプラザ		足利哲也
	会員会議所会議	北上		足利哲也
	未来を創るトークショー	市総合体育館 (ユートピア)サブアリーナ	13:00~15:00	足利哲也
27日				
28日	ブロック大会実行委員会	ルーム	19:00~22:30	小野寺康 千葉太郎 浅野裕美 千葉晴一 平間正宏
29日				
30日				
31日				

12月 日	行事内容	場所	時間	対応者
1日	5LOMクラブ交流会		18:00~19:00	メンバー4名
2日				
3日				
4日	一関JC12月例会 卒業式	ベリーノ		
5日	ブロック大会実行委員会	古戦場	5:00~8:30	小野寺康 千葉太郎 浅野裕美 千葉晴一 平間正宏
6日				
7日	なのはなプラザ 入居団体連絡調整会議	一関市民センター	10:00~11:00	
	一関商工会議所青年部H28年度「自社事業発表会」並びに忘年会	ベリーノ	18:30~21:00	足利哲也
8日				
9日				
10日	会員会議所会議	盛岡		足利哲也
11日	大船渡JC2016年度『卒業式及び謝恩会』	オーシャンビューホテル 丸森		
12日				
13日	もち食推進会議『食と農の景勝地』認定記念講演会並びに祝賀会	サンルート		足利哲也
14日				
15日				
16日				
17日				
18日				
19日				
20日				
21日	第12回理事会			
22日				
23日				
24日				
25日				
26日				
27日				
28日	二代目時の太鼓 御用納め式	ベリーノ		足利哲也

29日				
30日				
31日				

# 一般社団法人 一関青年会議所

## 2016年度組織図



# 〈事業報告〉

一般社団法人一関青年会議所 2016年度

報告書

LOM名	委員会名	役職名	担当者名					
一関	総務広報委員会	委員長	曾根 蒼					
事業名		1月例会 新年交賀会						
開催日時	開催場所	参加人数		事業予算				
2016年1月9日(土) 8:00~16:20	ベリノーホテル一関	対内	22名	対外	100名	合計	122名	57,000円

事業内容	理事長基本理念達成に向けた内容の精査
<p>・2016年度の理事長所信、組織体制、事業計画等を御理解頂くことと、一年間を通しての御協力をお願いする。</p> <p>・メディアを通じて、一般市民の方に（一社）一関青年会議所を広報する。</p> <p>・オブザーバーには、JC活動の一端を御理解頂き、入会のきっかけとする。</p> <p>・メンバーが、事業準備を含めて団結して取り組むことで、2016年度を勢い良く発進する。</p> <p>・理事長所信や他委員会の事業計画を知ることで、事業は全体活動との意識を共有する。</p> <p>・対外対象者との交流を深め、事業協力を得易い初顔合わせの場とする。</p>	<p>「郷土一関に誇りをもって、率先して行動し、自己を成長させる」の基本理念の下、来賓のみならず市民の皆様へ青年会議所への関心を持って頂く。また、一関青年会議所61年目の新たな一歩への架け橋となるべく個人が意識して式典に臨む事で新たな成長を促進していく。</p>
外部出席者・経歴	理事長基本理念達成に向けた結果報告
<p>【一般来賓者（抜粋）】31名</p> <p>一関市長 勝部修 様 岩手県知事遠藤拓也様 代理県南広域振興局 菊池 修一 様 一関市議会 議長 千葉大作 様 一関商工会議所 会頭 佐藤 晁偉 様</p> <p>【各地青年会議所（抜粋）】56名</p> <p>（公社）日本青年会議所 東北地区協議会 副会長 木村 治 君 （公社）日本青年会議所 東北地区 岩手ブロック協議会 副会長 五日市 真一 君</p> <p>【一関青年会議所OB（抜粋）】13名</p> <p>一関青年会議所OB 会長 高橋 市郎兵衛 様</p> <p>審議対象資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案内文</li> <li>・来賓者名簿</li> <li>・式次第</li> <li>・総合資料（CDデータにて）</li> <li>・祝賀会座席表</li> <li>・お礼状並びにお詫び状</li> </ul>	<p>当日は、準備不足が露呈し、時間通りの進行ができなかった中で、メンバーの助けもあり、なんとか形にすることができた。『新しき一歩を踏み出す開拓者たれ』のスローガンのもと、各委員会ムービーを作ったり、司会者を今まで経験したことのないメンバーにやってもらったりと、失敗も多々あるが2016年度のスローガンを体現できた事業であった。</p>



一般社団法人一関青年会議所 2016年度

報告書

LOM名	委員会名	役職名	担当者名					
一関	夏祭り委員会	委員長	阿部 徹					
事業名		2月例会 新春の集い						
開催日時	開催場所	参加人数		事業予算				
2016年2月7日(日) 8:00 ~ 20:40	ホテルシティプラザ	対内	19名	対外	0名	合計	19名	36,542円

197

事業内容(200字)	理事長基本理念達成に向けた内容の精査(200字)
<p>岩手ブロック協議会の新春のつどいは例年2月に行われ、岩手県内の各LOMが集まり、多数の参加者と共に岩手ブロック協議会の方針を共有し意識向上への場としてきている。また、本年は「いわてJAYCEEアカデミー」開校式が同時開催でもあり、岩手県内のLOMとの親睦・交流する場となっている。</p>	<p>「郷土一関に誇りをもって、率先して行動し、自己を成長させる。」</p> <p>セミナーを受ける事により自らの新しい意識付けを行い、また岩手の多くのメンバーと交流し、友情を深め、自己の成長への糧とする。</p>
外部出席者・経歴	理事長基本理念達成に向けた結果報告(400字)
なし	<p>今年は新春の集いとアカデミーの開校式が同日に開催され、岩手ブロック協議会の事業へ参加と協力が出来たと思う。アカデミーの開校式では、当LOMから塾長と塾幹事を輩出しており、メインの塾生と共にメンバーで応援が出来たと思う。新春の集いでは、岩手ブロック協議会の方針と事業内容が確認できたと思う。懇親会でも多くのメンバーが他のLOMと交流が出来、今年開催されるブロック大会へのPRの布石ができたと思う。</p>
審議対象資料	
なし	



一般社団法人一関青年会議所 2016年度

報告書

LOM名	委員会名	役職名	担当者名			
一関	事務局	専務・事務局長・事務局次長	小山裕貴・佐々木豊・加藤圭一郎			
事業名	3月例会 新たな一歩を踏み出す為の、大人のマナーアップ講座					
開催日時	開催場所	参加人数		事業予算		
2016年3月18日(金) 19:00~21:50	なのはなプラザ3F 研修室2	対内	21名 対外	0名 合計	21名	0円



事業内容(200字)	理事長基本理念達成に向けた内容の精査(200字)
<p>セッション1 JCIプロトコルの再確認 プレゼンター佐々木豊 参照資料① 日本JCIが出版している、「NEW JAYCEE」より抜粋し、特にも利用頻度が多く再確認の必要があるようなJCプロトコルを抜粋し、情報提供行う。</p> <p>セッション2 クイズで学ぼうJCI プレゼンター 加藤圭一郎 参照資料② ある例会から懇親会までの流れを擬似的に行い、その中で青年会議所内のルールは元より、知っては損はない大人の為のビジネスマナーをクイズ形式で学習する</p> <p>学習の整理 プレゼンター小山裕貴 事業で得た知識を整理するとともに、グループ毎に共有し発表を行う</p>	<p>「郷土一関に誇りをもって、率先して行動し、自己を成長させる」の基本理念の下、メンバーがこれまで培ってきた経験を共有し、自己啓発に繋がる事業の実施。</p>
外部出席者・経歴	理事長基本理念達成に向けた結果報告(400字)
なし	<p>・青年会議所は国際団体であるため、日本だけでなく国際ルールやマナーをその背景まで学ぶ事で、色々な場面で活用できそうな知識を再認識することができ、今後の青年会議所活動の基盤とすることができた。</p> <p>・ブロック大会が開催されるにあたり、今までメンバー間でも一本化していなかったルールやマナーを知ったことで、1人1人が自信を持っておもてなしできるきっかけとすることができた。</p>
審議対象資料	
NEW JAYCEE	



一般社団法人一関青年会議所 2016年度

報告書

LOM名	委員会名	役職名	担当者名			
一関	青少年育成委員会	委員長	鈴木陽介			
事業名	4月例会 さわやかJCで行こう♪					
開催日時	開催場所	参加人数		事業予算		
2016年4月24日(日曜日) 9:00~16:08	・川崎支所 川崎体育センター(スポーツ吹矢) ・いちご狩りもぐもぐの里(いちご狩り)	対内	16名 対外	16名 合計	32名	40,111円

事業内容(200字)	理事長基本理念達成に向けた内容の精査(200字)
<p>メンバー間の交流・団結を深めるため、共に笑顔で取組める事業を行う。「まち」をより深く知るために事業の実施場所へは公共交通を利用して移動する。加えて、一関の魅力を発見する体験として、国体での一関のデモンストレーションスポーツ(スポーツ吹矢)や岩手唯一のいちご狩りスポットを利用する。</p> <p>実施内容: ・JR大船渡線 ー 陸中門崎駅ーノ関駅 ・岩手県交通㈱ ー 一関ー気仙沼線 ・スポーツ吹き矢体験 ー 川崎体育センター ※いわて国体でのデモンストレーション協議として一関を会場に行われる。</p> <p>・いちご狩り体験 ー もぐもぐの里</p>	<p>「郷土一関に誇りをもって、率先して行動し、自己を成長させる」という基本理念のもと、本事業を通じてメンバーに郷土一関に新たな気づきを得て頂き、一関のまちづくりへの率先した行動へ繋がりたいという思いで事業を計画致した。そのために、事業の内容として、メンバーがあまり利用したことのない公共交通機関を利用し、その現状を知ること。また、開催の迫ったいわて国体で一関を会場に行われるスポーツ吹き矢を体験することで、国体を身近に感じ発信していくこと。川崎町で事業を行うことで、広い一関の一つの地域をより身近に知ること。を盛り込んだ。</p>
外部出席者・経歴	理事長基本理念達成に向けた結果報告(400字)
なし	<p>上記内容により、参加したメンバーそれぞれから、新たな気づきや体験を得ることができたといった感想が聞かれた。また、対外参加者(家族)の参加が多くあったことから、メンバー家族間でのコミュニケーションが図れ親睦となったというお声も頂いた。それぞれのメンバーが、郷土への知を深めることができた事業だった。</p> <p>一方で課題としては、参加したメンバーの多くが、JC入会歴の長いメンバーであったことから、入会歴の浅いメンバーへのJC活動に対する意欲へつなげることが出来なかった。今後の事業においても、入会歴の浅いメンバーに主体的、能動的に参加頂ける意欲につながる事業の開催が課題である。</p>
審議対象資料	
徒歩ルート(川崎体育館〜もぐもぐ)、徒歩ルート(もぐもぐ〜陸中門崎駅)、講師依頼承諾書(時間修正)、次第・役割分担、会場設営見取り図、案内用チラシ、アンケート、御礼状、横断幕デザイン	

写真(jpg)がある場合、4~5枚貼り付けてください。

LOM名	委員会名	役職名	担当者名					
一関	ブロック大会実行委員会	委員長	平間正宏					
<b>事業名</b> ブロック大会を成功へ！～メンバー一致団結～								
開催日時	開催場所	参加人数		事業予算				
2016年05月28日(土) 9:00～11:00	ベリーノホテル一関	対内	13名	対外	7名	合計	20名	0円

事業内容	理事長基本理念達成に向けた内容の精査
<p>・我々がメインで担当する、大懇親会・エクスカーションの現在進捗状況を共有する。</p> <p>・委員会内で検討された内容を説明し、見落とししている点、どのようなしつらえをすれば来場者が喜んで頂けるか、一関青年会議所らしい大懇親会の演出をできるかの意見を頂く。メンバーからの意見を取り入れることでメンバーに当事者意識を持っていただき、メンバー一丸となって取り組めるようにする。</p> <p>・ブロック大会運営委員会、メインフォーラムを担当する地域の力創造委員会の担当副会長、担当委員長、担当副委員長をお招きし、現在の進捗状況を確認し、岩手ブロックとの連携強化と、今年度のブロック大会について、理解を深め、メインフォーラムの動員強化につなげる。</p>	<p>「郷土一関に誇りをもって、率先して行動し、自己を成長させる」のもと、一関らしいブロック大会を作り上げると共に、メンバー一人一人が主体性を持ち率先して行動するため、ブロック大会を理解し、当事者意識を醸成する。</p>
外部出席者・経歴	理事長基本理念達成に向けた結果報告
<p>公益社団法人日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会 協議会</p> <p>岩手ブロック協議会 2106年度会長 伊藤文博 君</p> <p>岩手ブロック協議会 2016年度運営専務 高橋宏彰 君</p> <p>ブロック大会運営委員会 担当副会長 五日市 真一 君</p> <p>ブロック大会運営委員会 担当委員長 菊池 隼 君</p> <p>地域の力創造委員会 担当副会長 木村 直樹 君</p> <p>地域の力創造委員会 担当委員長 戸崎 ミユキ 君</p> <p>地域の力創造委員会 担当副委員長 菊池 篤史 君</p>	<p>7月開催されるブロック大会に向け、主旨や内容を理解することで、我々がブロック大会でやるべきことである、動員強化に努めるための意識付ができた。しかしながら、メンバー参加率が低く伝わらないメンバーの方が多いという結果になってしまったことは、委員会でのこの例会の重要性を伝えられず、再三の参加をお願いする姿勢がもつと必要であると感じた。本会が公益社団法人に移行してからのブロック大会での課題と感じられてきたメインフォーラムへの動員強化に向けての岩手ブロック協議会と主管ロムの温度差があったが、『足利理事長より動員については主管ロムである一関青年会議所が責任を持つ』という言葉によって、メインフォーラム成功に向けた連携がとれた。また、我々の動員に向けての責任が参加者メンバーに理解して頂くことで、必ず成功へと導く為の連携が図れたことは、この例会を開催させて頂いた意義があると実感致しました。また、我々がメインで主催する大交流会の内容を理解して頂き、活発な意見を頂くことで、ブロック大会の開催に際し、郷土一関に誇りをもって、率先して行動し、自己を成長させる大会になることが期待できる。</p>
審議対象資料	<p>・岩手ブロック協議会メンバーへの案内文</p>

LOM名	委員会名	役職名	担当者名					
一関	総務広報委員会	委員長	曾根蒼					
<b>事業名</b> 6月例会 魅力ある一関を皆で探しに行くぞin祝鼻溪								
開催日時	開催場所	参加人数		事業予算				
2016年6月18日(土) 10:00～13:10	ひがしやま観光ホテル	対内	3名	対外	15名	合計	18名	0円

事業内容	理事長基本理念達成に向けた内容の精査
<p>・会場やその周辺地域を把握する事で、ブロック大会に向けての士気を高める。</p> <p>・地域周辺の魅力を感じ、ブロック大会で伝える。</p> <p>・オブザーバーとの交流を深め、入会促進を図る。</p> <p>・一関青年会議所メンバーと交流を深め、会員拡大につなげる。</p> <p>・一関の魅力を一体となって感じる。</p>	<p>「郷土一関に誇りをもって、率先して行動し、自己を成長させる」の基本理念の下、メンバーの結束力、情報共有を図り今後の事業へつなげ、新たなメンバーの入会を促進する例会を実施。</p>
外部出席者・経歴	理事長基本理念達成に向けた結果報告
<p>千葉産業 小野寺剛之 様</p> <p>Y.S 久保蘭 様</p> <p>KEIN'S ART 千葉ケビン 様</p>	<p>7月に一関の地に於いてブロック大会があり、当青年会議所は大交流会を主管することから6月例会はその大交流会会場である祝鼻溪の視察と会員拡大のための事業であった。オブザーバーは当初、5名を計画していたが急遽来れない方もいて3名の方々に参加して頂き、一関青年会議所のことを知って頂く良い機会になったと思う。また、東山の地でパーベキューをしたり舟下りをしたりと郷土一関の魅力を再発見するいい機会となる事業であった。</p>
審議対象資料	<p>・祝鼻溪探索マップ</p> <p>・アンケート</p>



一般社団法人一関青年会議所 2016年度

報告書

LOM名	委員会名	役職名	担当者名
一関	ブロック大会実行委員会	委員長	平間正宏
事業名	ブロック大会 in 一関 大交流会		
開催日時	開催場所	参加人数	事業予算
2016年07月09日(土) 07:00~22:00	祝鼻溪(砂鉄川河川敷)	対内 25名 対外 364名 合計 389名	80,000円
事業内容		理事長基本理念達成に向けた内容の精査	
<p>例年、岩手ブロック大会は、岩手13会議所メンバーの情報交換の場、さらにメンバー・家族それぞれの絆を深める場としてこれまで役割を果たしてきました。ブロック大会は、13会員会議所のメンバーはもろろんのこと市民参加において、青年会議所活動を知って頂く事にも重きを置くブロック大会を目指し、また基本理念である「未来へつながる結の精神溢れる岩手の創造」を導く13会員会議所の強固な絆の醸成を目指す大会です。</p> <p>また、今年度は12年ぶりに一関の地で開催される。お越しいただいた各ロムのメンバーへの大懇親会でもおもてなしを含め、一関青年会議所メンバー全員で取り組み、この第46回ブロック大会 in 一関の成功につなげなければならない。この大交流会は、一関ならではの、魅力を来場されたメンバーに伝え、また一関に来たいと思って頂けるような大懇親会開催の開催。また、開催場所についても、一関ならではの一関の観光資源の宝庫である東山で開催する。</p>		<p>「郷土一関に誇りをもって、率先して行動し、自己を成長させる」のもと、一関らしいブロック大会を作り上げると共に、メンバー一人一人が主体性をもち率先して行動するため、ブロック大会を理解し、当事者意識を醸成する。</p>	
外部出席者・経歴		理事長基本理念達成に向けた結果報告	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出店者 18名                     <ul style="list-style-type: none"> <li>格之進(2名)</li> <li>一関ミート(2名)</li> <li>おやまプロイラー(3名)</li> <li>なじょったべ隊(3名)</li> <li>松竹(1名)</li> <li>いびレストハウス(1名)</li> <li>祝い餅振舞い隊(6名)</li> </ul> </li> <li>・ 歴代理事長ブース 2011年度～2015年度 22名</li> <li>・ ボランティアスタッフ 5名                     <ul style="list-style-type: none"> <li>東和警備様(3名)</li> <li>ふりり様(2名)</li> </ul> </li> <li>・ 時の太鼓顕彰会 15名</li> </ul>		<p>メンバーが一丸となり、一関の「おもてなし」をしっかりと演出できたブロック大会であり、公益社団法人となり今年度で4回目のブロック大会となったが、ブロック協議会との連携がとれたブロック大会と交流会であった。また、一関の魅力である食と観光名所である祝鼻溪で開催し、エクスカージョンに観光資源を活用することで、一関の魅力を参加者メンバーにしっかりと伝えることができたのではないかとと思われる。また、交流会内でのイベントについては、各地の会員会議所メンバーを巻き込んだイベントとなり、大いに盛り上がりがあった大交流会となった。13年に一度という現在のメンバーでは誰も経験したことのない主管ということで、13年後に引き継げるようしっかりと学ばせていただきました。また、今年度は、千葉副委員長がブロック大会運営委員会の副委員長として出向して頂き、今まで課題だった岩手ブロックとの動員に向けた連携が取れ、主管ロムとしてチラシ配布、PR等積極的にメンバーが協力してくれる体制が自然に取れていた。</p> <p>大交流会は予想以上に準備に時間がかかり、リハーサルの不足など不備や、あいにくの雨模様でしたが、それでも来場していただいた方々より楽しかったというお言葉をいただき、目的の一番だった「一関のおもてなし」が行き届いた結果なのではないかと思われまます。メンバーの皆様には、準備片付け等で多大なご協力を頂き、本当にありがとうございます。皆様のご協力がなければできなかった事業でした。また、事業を通じて今年度の足利理事長の郷土一関に誇りをもって、率先して行動し、自己を成長させる事業であったと実感致しました。</p>	
審議対象資料			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種借用願い</li> <li>・ 各店への出店依頼</li> <li>・ ブロック大会 メインフォーラム チラシ配布願い</li> <li>・ 一関ホテル一覽</li> <li>・ 大交流会レイアウト</li> <li>・ 一関市長 本大会への出席願い</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チラシ配布回覧用お願い文章</li> <li>・ 缶バッヂデザイン案</li> <li>・ 各団体出演依頼文</li> <li>・ 大交流会席次表</li> <li>・ 大交流会の案内</li> <li>・ 登録キット内容説明文章</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大交流会シナリオ</li> <li>・ 登録票</li> <li>・ 大交流会案内文章(LOM向け)</li> <li>・ 当日タイムスケジュール</li> <li>・ 一関、平泉観光マップ</li> <li>・ 保険所届出申請</li> </ul>	



一般社団法人一関青年会議所 2016年度

報告書

LOM名	委員会名	役職名	担当者名
一関	夏祭り委員会	委員長	阿部 徹
事業名	8月例会 二代目時の太鼓大巡行		
開催日時	開催場所	参加人数	事業予算
2016年8月6日(土) 13:30 ~ 16:30	中里市民センター～一関駅～菜の花プラザ	対内 23名 対外 145名 合計 168名	667,997円
事業内容(200字)		理事長基本理念達成に向けた内容の精査(200字)	
<p>「一関に過ぎたるもの二つあり。時の太鼓に建部清庵」と伝わる。その「時の太鼓」を継承して一関青年会議所に40年間継続している事業があります。いちのせき夏まつり2日目に中里市民センターから一関駅まで、時の太鼓を演奏する山車が夏祭りの中町中を歩きます。3歳からの子供たちから大人まで一緒に大巡行に参加する事で、まつりを楽しみ、盛り上げ、いちのせきの夏祭りを盛況とするイベントの一つとなっている事業です。</p>		<p>「郷土一関に誇りをもって、率先して行動し、自己を成長させる」の理念のもと、40回も続く二代目時の太鼓大巡行をまずは知ってもらう為に、一関市内の保育園や幼稚園、こども園19カ所をチラシをもって、歩き引き手の子供たちの参加をお願いをして回った。また、FMあすろや岩手日々の記事のお願い、広報等を活用し、PRに力を入れました。足を使い、広報をすることで二代目時の太鼓大巡行を知ってもらい、参加して頂くことで、郷土一関のまつりに参加し、一関を盛り上げている一助となっている。</p>	
外部出席者・経歴		理事長基本理念達成に向けた結果報告(400字)	
<p>一関市長・商工会議所会頭一関市議会議長・一関観光協会会長・時の太鼓顕彰会・炎舞会</p>		<p>市内の保育園や幼稚園等を訪問し、歩き回ったことで、例年よりも2倍の63名の引き手の子供たちの参加を頂いた。今年からオリジナルTシャツを作成し、引き手の子供たちに着て頂くことで、一体感が増し、また新規に参加する子供たちも多く、また子供たちの保護者の方も一緒に来て頂くことにより、二代目時の太鼓大巡行のイベントが多数の参加者で巡行が出来、その事により一関の夏祭りを盛り上げる一助となったと思う。まつりを見る側から参加する側へとすることで、地元のみならずの関わり方が変わり、自ら楽しみ、郷土への愛や誇りを持って頂く機会になったのではないかと。夏祭りでは天候次第では、猛暑になるので、参加数が高く健康面や安全面に配慮が必要です。まずは参加者の体調面を重要とし、巡行を安全に行うことが必要です。その事があって無事に終わることが、二代目時の太鼓大巡行の成功へと繋がります。来年以降も多くの参加者にていちのせきの夏祭りを盛り上げていただきたいと思います。</p>	
審議対象資料			
引き手参加者募集チラシ			



LOM名	委員会名	役職名	担当者名	
一関	総務広報委員会	委員長	曾根 誉	
<b>事業名</b>				
9月例会 東北青年フォーラムin 水の里とめを視察しよう				
開催日時	開催場所	参加人数		事業予算
2016年9月3日(土) 9:30~22:30	フォーラム:登米祝祭劇場 懇親会:長沼フートピア公園	対内	0名 対外 15名 合計 15名	51,600円
<b>事業内容</b>		<b>理事長基本理念達成に向けた内容の精査</b>		
メンバーが東北青年フォーラムに参加し東北地区協議会がどのような運動をしているのかを学び、今後の青年会議所運動に役立てると同時に、大会の雰囲気にも触れ、来年行われる水沢での東北青年フォーラムの参考とする。また、観光地を巡り登米市の魅力を知る機会とする。		「郷土一関に誇りをもって、率先して行動し、自己を成長させる」の基本理念の下、これまで参加したことが無いメンバーが率先し、東北青年フォーラムに参加することで「新たな一歩」を踏み出すことができた。		
<b>外部出席者・経歴</b>		<b>理事長基本理念達成に向けた結果報告</b>		
なし		今回9月例会で東北青年フォーラムに参加することになり、初めて参加するメンバーも多くいた。来年、水沢の地で東北青年フォーラムが開催されるのを手伝うことを考えると参考になった事が多くあったと思う。懇親会での設営や他LOMの来ていただく方々の誘導など、来年の参考になることが多くあったと思う。残念だったのは予定していたスケジュールをほとんど出来なかったことだ。近隣の市町村である登米の地の歴史や風土を体験することは良い体験になったのではないと思うので非常に残念だった。またフォーラム内の企画の聴講はメンバーの資質向上にもつながる内容だっただけに聞いて欲しかった。今回計画していた例会のスケジュールを消化できなかったのは、事前に本部である東北青年会議所に直接確認しなかったこと、忘れたことだと思っておりますので次年度では気を付けてもらいたい。最後に、予定していたスケジュール通りにもかかわらず、参加されたメンバーには多くのご迷惑をお掛けしたことをお詫言申し上げます。また最後まで参加して頂いたメンバーには心より感謝申し上げます。		
<b>審議対象資料</b>		なし		



LOM名	委員会名	役職名	担当者名	
一関	青少年育成委員会	委員長	鈴木陽介	
<b>事業名</b>				
10月例会 君がトレジャーハンターだ!〜一関のお宝、再発見〜				
開催日時	開催場所	参加人数		事業予算
2016年10月1日(土)、10月2日(日) 8:30~17:00	一関市大東町大原地域	対内	22名 対外 31名 合計 53名 ※総参加60名	532,638円
<b>事業内容(200字)</b>		<b>理事長基本理念達成に向けた内容の精査(200字)</b>		
小学生4,5,6年生を対象とし、郷土愛や友情を育むための1泊2日の事業。1日目に大東町大原にてトレジャーハンティングを実施。大東ふるさと分校へ宿泊し、2日目に大原市民センターにて学び味わう郷土の魅力(調理実習)を実施した。トレジャーハンティングでは、謎解きをしながら大原の町中を歩き回り、同時に町の魅力を探した。調理実習では、ハット汁、かんづきを食材を学びながら作り味わった。2日間を最後に壁新聞にまとめて家族の前で発表した。また、壁新聞を後日大原市民センターで展示した。		「郷土一関に誇りをもって、率先して行動し、自己を成長させる」という基本理念のもと、本事業ではメンバーが、子供たちが郷土愛を感じるために「郷土愛ってなんだ?」をスタートに委員会と議論を重ねた。今回は、知らなかった、気づいていなかった郷土への魅力を再発見するために、トレジャーハンティングと郷土食の調理という手法を用いて、そしてそれが思い出に昇華されて郷土愛へ繋がるように楽しい設えとなるよう工夫を重ねた。近年行われなかった東磐井地域での事業、そして新たな形での事業という取り組みを進める過程での行動力、そして成長を図った。		
<b>外部出席者・経歴</b>		<b>理事長基本理念達成に向けた結果報告(400字)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一関市内小学生4~6年生 31名(女子11名、男子20名)</li> <li>・学生ボランティア 一関高等専門学校生 2名</li> <li>・看護師 藤原一子さん</li> <li>・オブザーバー 小野寺伸吾さん(デクノボンズ)、桜井陽さん(地域協力隊)</li> <li>・一関青年会議所OB 片岡郁先輩、鈴木哲先輩</li> </ul>		上記内容により、事業準備の過程では、多くの課題を乗り越えてきたことで、委員会メンバー個々に率先して行動すること、そして自己の成長へと繋がった。事業本番においても、多くのメンバーの支えや協力が、相互に思いやりをもって影日向に活動を展開する姿がみられた。子供たちにも心に思い出に刻まれる事業であり、郷土愛の醸成に繋がっていくものと推測される。一方で課題としては、やはり入会歴の浅いメンバーの参加が蓄わず、JC活動に対する意欲へとつなげることが出来なかった。今後の事業においても、入会歴の浅いメンバーに主体的、能動的に参加頂ける意欲につながる事業の開催が課題である。		
<b>審議対象資料</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンダナデザイン(パンダナサイズ、パンダナデザイン)・ボランティア資料【ボランティア募集依頼文(一関高専・修紅短大)】・募集要項申込用紙(一関高専・修紅短大)】・各種シナリオ【アイスブレイクゲーム、トレジャーハンティングシナリオ・役割分担、雨天時のイラスト伝言ゲーム、郷土食(全体、詳細、調理品紹介)】・小学生募集資料1小学校案内書類(チラシ、ポスターチラシ配布計画、協力依頼文小学校)・小学生募集資料2参加者送付書類(参加案内分書、保護者同意書、お子様情報記入表、緊急時連絡先、持ち物リスト、バス行程表、注意事項)・全体進行、組織表等資料(しおり、参加者名簿、宿泊、班分け、使用可能トイレ一覧、全体進行表・組織図)・補助金資料(補助金プレゼン資料、地域おこし事業申請書、補助金申請用予算・予算書・見積(予算書、予算書受益者分、見積り)</li> </ul>		



一般社団法人一関青年会議所 2016年度

報告書

LOM名	委員会名	役職名	担当者名
一関	次年度事務局	副理事長	佐々木朋和
事業名	11月例会 次年度アワー		
開催日時	開催場所	参加人数	事業予算
2016年11月12日(土) 16:00~19:15	古戦場	対内 20名 対外 6名 合計 26名	0円
事業内容(200字)	理事長基本理念達成に向けた内容の精査(200字)		
【第1部】 2016年度一般社団法人一関青年会議所の運動成果をメンバー全員で共有した。 【第2部】 第62代一般社団法人一関青年会議所理事長予定者 菅原公正君 の所信と活動方針を把握し、1月例会新年交賀会に備え2017年度各委員会事業計画発表を行った。	「郷土一関に誇りをもって、率先して行動し、自己を成長させる」の基本理念の基、例会に設けた各種発表に準備段階から積極的に関わることで率先して行動し、自己を成長させる機会とした。オブザーバーを含めた大勢の前で限られた時間で発表することが、自己成長につながった。参加頂いたオブザーバーへ率先して話しかける等の行動が見られた。		
外部出席者・経歴	理事長基本理念達成に向けた結果報告(400字)		
オブザーバー 小野寺伸吾君(株式会社 デクノボンズ)、千葉洋平君(サカイ工業株式会社)、久保蘭さん(Y.S)、小野寺則之君(千葉産業)、高橋勝則君(五合田建設)、小岩義典君(小岩木材)	2016年度の事業総括及び2017年度の運動の方向性を各自が認識し、自分の中で整理し落とし込むことで来年度の委員会事業への糧とする事を対内目的に行ったが、各々が発表を聞くことにより2016年度を振り返り、2017年度の委員会の活動方針を知る良い機会となった。また、JCを知らないオブザーバーの前で発表する事は、工夫が必要であり、自己を高める良い経験になったと思う。対外目的として一般社団法人一関青年会議所の活動内容や地域とのつながりを知っていただくことを掲げたが、オブザーバーからは一関青年会議所の活動がわかったと講評を得、実際参加者から現時点で2名の入会者を出すことが出来た。メンバーは発表や懇親会等を通して、オブザーバーへのアプローチなど率先して取り組み、自己成長につなげることが出来たと思う。		
審議対象資料	次第、委員会事業成果発表フォーマット、会員拡大ターゲットリスト、チラシ(副委員長会作成)		



一般社団法人一関青年会議所 2016年度

報告書

LOM名	委員会名	役職名	担当者名
一関	事務局	専務理事・事務局次長	小山裕貴・佐々木豊・加藤圭一郎
事業名	12月例会 卒業式		
開催日時	開催場所	参加人数	事業予算
2016年12月4日(日) 15:00~16:20	ペリーノホテル一関	対内 27名 対外 13名 合計 40名	42,112円
事業内容(200字)	理事長基本理念達成に向けた内容の精査(200字)		
卒業生のこれまでの御尽力に感謝の気持ちを込めて、メンバー全員にて取り組む。役割分担等を早めに説明し、当事者意識をもって頂く。	「郷土一関に誇りをもって、率先して行動し、自己を成長させる」の基本理念の下に、卒業生の想いや、これまでの活動を現役メンバーが知ることで、新たな事業への発想の起点となることを期待する。一方で、「率先して行動し、自己を成長させる」と活動してきた卒業生にJCメンバーとして感謝を込めた事業としたい。		
外部出席者・経歴	理事長基本理念達成に向けた結果報告(400字)		
オブザーバー参加 一関信用金庫 阿部賢太郎 様 テクノボンズ 小野寺伸吾 様	今年は、卒業生が2名ということもあり、卒業生やOB先輩方の想いを、我々現役メンバーがより時間をかけて聞いたことにより、自己の成長へとつなげることができ、今後の活動に際し率先して行動することへの足掛かりとすることができたと思う。各委員会をお願いした余興も、卒業生の為にという思いで真剣に取り組んでいたことにより、各自が率先して行動することの大変さや大切さの再認識できたと思う。		
審議対象資料	・式次第 ・次第 ・シナリオ ・役割分担表 ・OB送付先リスト ・予算書 ・案内文		



## 〈出向者報告〉

岩手ブロック協議会

ブロック大会運営委員会 副委員長

千葉 太郎

2016年度ブロック大会運営委員会副委員長として出向させていただきました。とげずばやまじ〜行動こそが岩手を変える〜のスローガンのもと岩手ブロック大会 in 一関を開催致しました。ブロックとLOMが協力し合ったからこそあそこまでの大会が作り上げられたと思います。緊急事態も御座いましたが、クリアできたのは青年会議所の絆のおかげだと思います。五日市副会長、菊池委員長、ブロック役員や各地理事長様に色々と教えて頂いたり、心配をして声をかけてくれたり、叱咤激励してくれたLOMメンバーのおかげで職務を全う出来たと思います。そしてこの学びを次年度はLOMに還元します。

最後になりますが、御協力や色々と教えていただいた皆様には大変感謝しております。

ありがとうございました。

ブロック大会運営委員会 委員

平間 正宏

今年度、岩手ブロック協議会ブロック大会運営委員会に出向させて頂きました。私は、LOMでは開催地としてブロック大会実行委員長をさせて頂き、岩手ブロック協議会と開催地LOMとの連携を軸に活動させて頂きました。ブロック大会の課題は岩手ブロック協議会と開催地LOMのメインフォーラム等の動員連携を図ることが重要であると認識しておりました。より公益性が必要になった4回目のブロック大会であり、一般参加者の動員を一関青年会議所としても責任を持ち努めました。市役所と連携した回覧への折り込みは、メンバーの皆様にもご協力頂き、青年会議所の認知やブロック大会のPRなど大いに役立てたのではないかと考えております。岩手ブロック協議会には、副委員長として千葉太郎君が役員出向しており、私は岩手ブロック協議会の委員会にはあまり出席できませんでしたが、千葉太郎副委員長が連絡調整役となって頂き、今までより強固なブロック大会の協力体制と連携ができたのではないかと実感致しました。開催地LOMからの役員趣向は、開催地LOMとしては、辛いところもありますがブロックとの連携を図る上では、意見の集約や動員調整など連携が取りやすい組織作りとなり、効果的であると実感致しました。

岩手ブロック協議会への出向は、会員相互の絆を育み会員の資質向上やLOM強化にもつながるため、一関青年会議所として今後も率先した出向をすることが望ましいと実感致しました。

LOM支援委員会 委員

小山 裕貴

今年度、LOM支援委員会 委員として出向させて頂きました。

今年度は大型台風の通過により岩手ブロック内の岩泉・宮古地区が大きな被害にあいました。

そこで岩手ブロックとしても LOM 支援委員会が担当し被災地へのボランティア派遣を行いました。

私も含め、岩手ブロック内各地より多くのメンバーがボランティアに参加して頂き復旧の一助になれたのではないかと考えています。

また岩手県知事との意見交換会も担当させて頂きました。当日は活発な意見交換がなされたものと思います。

今回の出向させて頂き多くの事を経験させて頂きました。

大変ありがとうございました。

#### 連携推進委員会 委員

阿部 徹

岩手ブロック協議会 連携推進委員会に出向させて頂きました。

国民の憲法に対する意思を確立する事業や統一地方選挙における公開討論会の推進等の委員会活動に参加させて頂き、多くは参加できなかったが、委員会メンバーとの交流やブロック大会での憲法をわかりやすく説明する準備等で活動させて頂き、良い経験ができた出向となりました。

#### 地域の力創造委員会 委員

鈴木 陽介

2016 年度は、岩手ブロック大会が一関開催ということもあり、ブロック出向の身でありましたが、なかなか活動へ参加することができませんでした。それでも、2 度ほど委員会の会議に出席し、委員会が担当した JC カップの意義や、ブロック大会での講演会の準備設営のあり方を学ぶことができました。

#### 総務広報委員会 委員

曾根 誉

私は岩手ブロック協議会の総務広報委員会に出向させて頂きました。様々な事業に触れ、中から体感することでロジックの重要性を改めて感じました。また議事録を作成することで岩手ブロック協議会ではどのような話し合いが持たれているのか、どのように事業にしていくなのかを学ばせて頂いたので、今後の LOM での活動に活かしていきたいと思います。

#### いわて JAYCEE アカデミー委員会

塾長 蜂谷 悠介

昨年 10 月に 2016 年度いわて JAYCEE アカデミー塾長という大きなチャンスを頂いてから、本年度の活動を通じ多くの気づきと喜びを得ることができました。全ての事業を終えた今、塾長予定者として緊張と不安の中、事業計画を作り上げていたことを思い出します。JC 運動の歴史と志が共有され信頼と揺るぎない絆で結ばれた塾生が、自らの地域に夢や希望を抱いて主体的に行動する市民やメンバーとともに、魅力に溢れる地域の多彩な資源を生かした地域活性化への能動的な取り組みによって、地域の力に満ち溢れる輝く岩手を実現していく未来像を描き、アカデミーがスタートしました。

私たちは、本年度のアカデミーの目的を「JC 運動への理解を深めるとともに、物事の本質を見極めるスキルを高める」「価値観を共有した塾生同士が絆を醸成し、各 LOM や地域で主体的に行動を起こす気概を発揮する人材を育成する。」とし、塾生とともに学び、塾生とともに多くの気づきを頂きました。

沢山の関わりの中で、大きな視野をもって行動しなければならない現代だからこそ、「物事の本質を見極める JAYCEE」が求められています。私たちは、モノ、情報に溢れ、グローバル化された環境の中で、地域格差も国境の隔たりも感じる事なく、より便利で、豊かな生活を過ごしています。そんな現代においては、世界的視野からどのくらい最小単位まで価値観を細分化できるかが重要なことのように錯覚してしまいます。世界から見た日本。日本から見た東北。東北から見た岩手。岩手から見た地域。地域から見た個人。このような切り口は、他との比較の中にか存在せず、本当の力を引き出せないとアカデミーを通じて感じました。

地域の特色や魅力は、そこに住む人々の「生きる」ことの積み重ねから生まれたものです。極端な話かもしれませんが、空気を吸う、食べる、などのように「生きる」ことに近い行動原理ほど、誰もが当たり前のように共感し、決してぶれない核（力強いパワーの源）になると改めて学びました。自分自身にも、地域にも、「空気をすう事」と同じくらい、ごく自然で当たり前だけど、無くてはならない宝が沢山あります。だとすれば、個人や地域の「想い」によって育まれた価値観から積み上げ、広げていく事の方が、受け入れ易く、実感を持って行動でき、力強いのです。

「本当に大切なものは何なのかを見抜く力」

「大切なものを最小単位から積み上げていく力」

これこそが、本年度のアカデミーを通じて絆を深めた塾生が得たものだと実感しています。

塾幹事 菅原 公正

第33期いわて JAYCEE アカデミー委員会へ幹事として出向させて頂きました。このような出向の機会を頂いたことにメンバーの皆様には感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。

2月7日の開校式から始まり10月15日の閉校式まで塾長蜂谷悠介君と共に物事の本質を見極める JAYCEE の育成と LOM を担う若き JAYCEE 相互の絆の育成という事業計画のもと、県内各地会員会議所の入会間もないメンバーと共に多くの学びと気づきを得ることができました。1年間ありがとうございました。

塾生 千葉 晴一

アカデミーに出向させて頂き、沢山の貴重な経験を体験することが出来ました。その中でもやはり各青年会議所メンバーと交流を図り、今後の JC ビジョンであったり、自身の仕事での目標などを語り合い、共に成長し合える仲間が増えたことは私にとってかけがえのない財産となりましたし、仲間のおかげで皆勤賞もとれて良かったです。

塾生 阿部 諭

アカデミーには、なかなか出席できませんでしたが坂本塾長はじめ同期の皆様には大変お世話になりました。

アカデミーに出席し、思い出に残るのが皆んな自分の産まれた街が大好きで街を活気あふ

れる街にして行こうと一人一人が頑張っているのが印象に残りました。その後の懇親会も楽しい思い出です。

アカデミーを通じて、とても素晴らしい同期に出会えて良かったです。

塾生 高田 慎平

アカデミーへの出席は限られた回数となってしまいましたが、他 LOM の方々との交流は自分にとって大きな刺激となりました。今回の経験を今後の JC 活動と自分の仕事に活かしつつ頑張っていこうと思います。ありがとうございました。

塾生 熊谷 勝弥

はじめに、28 年度いわて JAYCEE アカデミーに出向させていただき、ありがとうございました。

私はアカデミー出向の抱負で岩手県内に多くの仲間を作りたいと意気込み、アカデミーに参加いたしました。アカデミーには岩手県内から多くのメンバーが参加しており、初めは仲間が出来るのかと中学生以来のドキドキを味わいながら第 1 講座へと向かったのを思い出します。しかしそんな不安も取り越し苦労に終わり、今では県内に多くの仲間と呼べるメンバーが増えました。

各講座では JC について学ぶことができ、第 5 講座の事業に向けてひと時ではあったが、リーダーもやらせていただきました。人をまとめる難しさ作業分担の重要性多くのことをリーダーの立場になり学ぶことが出来ました。この経験は今後の JC 活動のみならず自社の運営にも大きな糧となりました。

今後、参加の機会がある方々は積極的に参加していただき多くのことを吸収していただきたいと思います。このアカデミーという事業は参加すればするほど、熱くなればなるほど学べる事が多くなる事業だと感じました。

塾生 小野寺 正人

残念ながら都合が合わずアカデミーへ出席することができませんでした。

塾生 加藤 圭一郎

アカデミー出向をさせていただいての感想は、あまり参加はできませんでしたが、同世代と切磋琢磨できる機会はこちら以外にはないのではないかと思います。時間を作れず数回の参加でしたが、非常に楽しい時間を過ごすことができました。これから出向されるメンバーは、これからを楽しみにして欲しいと思います。

## < 2016年度会員移動一覧 >

- <新入会員> (1名) 佐藤大樹君
- <退会会員> (2名) 磯田光洋君 佐藤泰洋君
- <卒業会員> (2名) 齋藤賢君、太田耕平君

# 資料編

# 青年会議所とは

## 理念と目的

青年は理想に燃え、未来への期待を常に強く持っています。希望に満ちた明るい豊かな社会、正義が行われる理想の社会の実現を心から熱望するために、青年は次代の担い手として大きな責任を自覚し、新しい世界のための推進力にならなければならないと考えます。

青年のこの夢を実現するため、同じ理想と使命感を持つ若い世代の人々を広く共通の広場に集め、友情を深めつつ、強く影響し合い、刺激しあって、“若さ”がもつ未来への無限の可能性を自分たちの手で効果的に描き出し、“明るい社会”を目指して、青年の情熱から生まれる果敢な行動を結集すべく、組織された団体が青年会議所（JC=Junior Chamber）です。

「われわれ JAYCEE（青年会議所会員）は、社会的、国家的、国際的な責任を自覚し、志を同じうする者、相集い、力を合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう」との日本青年会議所綱領は青年会議所の決意、行動理念と目標を明確に表現しています。

## 特質

青年会議所を他のすべての団体から区別する最大の特質は、会員の“年齢制限”にあります。会員はいかなる人種、国籍、性別、職業、宗教であってもかまいませんが、年齢満20歳から40歳までであることを要し、“品格ある青年”でなければなりません。したがっていかに長期間にわたり、有能で活動的な会員であっても、満40歳に達したら退会しなければなりません。この素晴らしい年齢制限のゆえに、青年会議所は絶対に若さを失わず、常に希望に溢れ、未来に向かった前進を続ける団体として活動することができるのです。

青年会議所は世襲経営者のサロンクラブではありませんし、単に社会奉仕を行う団体でもありません。青年会議所は未来を目指し、よりよき明日をめざしてわれわれの住む地域社会・国家・全世界のために、われわれが今日の犠牲を払うことを厭わず、常に進歩への挑戦を行う、理想と具体的総合的な施策をもった青年指導者の運動です。

## 組織

会員は自分が住んでいる地域にある青年会議所に所属しています。われわれが会員であることは市民としての自発的な自由な意志によるのです。それゆえにこの運動の単位は、あくまで各地青年会議所の日常の活動にあります。

1949年2月、東京に始まった日本の青年会議所運動は、50余年の歳月を経て、戦後日本の民間運動の白眉といわれるほどの拡大発展をとげました。現在、日本の隅々にわたり、739都市で活動を続け、会員約46,000名を擁する、青年運動最大の団体となりました。全国739青年会議所はそれぞれ集まって、50ブロック協議会を構成し、さらにそれが日本を10地区に分ける地区協議会が集められ、それを総合調整する機関として日本青年会議所があります。日本青年会議所は国際青年会議所（JCI-JUNIOR CHAMBERINTERNATIONAL）に加盟して、国際的なJCの運動の一翼をになって活動していますが、世界中では約19万人の会員が同じ理念のもとに国際的な同志感をもって運動を続けています。

## 事業目標 “社会と人間の開発”

創立以来の“個人の修練、社会への奉仕、世界との友情”の青年会議所の三信条は、われわれの運動50余年の展開の中で、年を追って具体化され、青年会議所運動とは要するに、“指導力開発と社会開発”であるとの事

業スローガンに固まってきました。われわれ会員は市民社会の一員として市民と共通の生活基盤に立ったものの考え方見方を出発点とし、市民の共感を求め、住みよい明るい豊かなまちづくりに向かって努力するとともに、青年会議所日常活動の場を通じ、われわれ個人個人をよりよく開発することが青年会議所運動にほかならないと考えます。

青年会議所の“指導力開発”とは民主的な集団指導力あるいは集団運営能力の研究と実践であるといわれます。まず会員個人がすぐれた市民、職業人であるために自ら厳しく訓練し、さらに市民社会の中であって、市民が目標に向かって一致協力するように働きかけながら市民とともに進む、その全過程が青年会議所のいう指導力開発です。

指導力開発を推進するもっとも有効な手段として、青年会議所は“社会開発計画”事業を中心とする運動をもっています。会員一市民が住むまちの明るい豊かな明日のために、それぞれのまちの問題を市民の中から掘りおこし、市民とともにその解決をはかるという方法です。

青年会議所運動は自由な自発的な意志により加入した会員の起こす運動であるからには、われわれのまちの運動、市民運動の中心でなければなりませんし、市民にその意志を認められなければなりません。

青年会議所の目標は明るい豊かな社会の創造であり、その新しい社会をリードするにふさわしい人を数多くつくることです。

青年会議所とその運動は決して完成されたものではなく、社会の進歩とともに、さらに発展していくと思われまします。

青年会議所は時代とともに新しい呼吸を続け、次々と新しい青年がこの団体を背負っていくでしょう。

青年会議所は常に英知と勇気と情熱を持った青年を求めて、その門戸を大きく開いています。

(2000 字 解説文)

## J C 宣言とその解説

### J C 宣言

～日本の青年会議所は～

創始の時代とは大きく異なり、多くのNPOやNGOが設立された今、J C及びJ a y c e e一人一人が、我々はいったいどのなにもものなのか、まさにその主体としてのアイデンティティを明確に示すことが求められているのである。

日本の全てのLOMが共通に使える“我々”(We a r e)それが、日本の青年会議所である。

～混沌という未知の可能性を切り拓き～

”混沌”とは”混迷”とは異なり、マイナスの状況を示すものではなく、それ自体は正負どちらにも展開しうる、エネルギーが充満したニュートラルな状態を表すものである。

現実としては、いつの時代、どこの社会にも混沌はあり、それを切り拓き、新たな秩序作り出すことが出来るのが、我々青年である。とりわけ今の日本社会にこそ、その混沌をどのように切り拓いてゆくかが問題の本質であり、青年会議所の真価が問われているのである。

豊かさや平和への思考が無条件に信じられた時代を経て至った現在の”混沌”というべき状況を、先行き不安という悲観的な捉え方ではなく、青年の特権として、「未知の可能性」として前向きに捉え、それに向かっていくものこそ、21世紀変革の能動者の姿であろう。

～個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築くために～

ボランティアであると同時に経済人であることが、我々J Cの存在基盤である。そこには常に、個人と社会人、

それぞれのあり方の兼ね合いをどうするかという問題が存在する。個人としての自立が必要であることは言うまでもないが、それだけではなく、公共にいかに関与するかを考え行動することが必要なのである。

“自立”にもさまざまな考え方があり”公共”にもいろいろな立場がある。それらの多様性をまさに「自立性」、「公共性」として、青年会議所は幅広く包含しつつ、両者のより強くより高いバランスを求めなければならない。

生き生きと協和する確かな時代を築くために個人の自立性は度が過ぎれば、社会の必要を認めなくなり、社会の公共性のみを重んじれば、個人はもはやそのための歯車に過ぎなくなる。

「生き生きと協和する」とは、そのような極端な偏りが生じないように、それぞれの意義を認め、それぞれを生かすことを意味する。そのバランスを取ることによって、“混沌”から”確かな時代”を築くことになるのである。

～率先して行動することを宣言する～

これまで述べてきた目的を達成するために、青年会議所がすべきことは、それを観念や理想として提示するだけでなく、「率先して行動すること」こと、つまり様々な地域において、地域のリーダーとして具体的に行動することである。

自ら進んでの行動こそが我々の使命であり、その存在意義なのである。

「宣言」は、それ自体が J C の外部に対しても守らなければならない、守るための努力をしなければならない約束の表明である J C 宣言が「宣言」という言葉のみに終わらないようにするためには、その成果、評価ばかりを求めていくのではなく、それを踏まえた実践を積み重ねなければならない。

それでこそ、「宣言」としての本当の意味を持つのである。

## J C 三信条とその解説

トレーニング（個人の修練）

サービス（社会への奉仕）

フレンドシップ（世界との友情）

■ 1950年5月1日、現在の日本青年会議所の前身とも言える J C 懇談会が開かれ、J C 運動の行動綱領として上記の3つが採択された。

■ つまり、J C 運動なるものは、まず若い人びとが集まって自己啓発、修練をするものであり、ついでその力を用いて地域社会にサービスするものであって、さらにそのトレーニング・サービスに徹することも、またひとしくトレーニングにつながるものである。

■ この三信条は非常に単純ではあるが、ここに今日の指導力開発の萌芽を求めることができる。この機会に、その代表的な解釈を述べておく。

「三信条は J C 生活規範だ」

第1の解釈は、「3つの信条は分けられない。有機的につながっている」という立場である。3つの原則が同じレベルにあるとする考え方だ。

この見方は、J C 三信条がキャッチフレーズとして誕生した当時のいきさつを考えればもっとももうなずけることである。

東京 J C の創立20周年記念誌には、「・・・・この J C 運動なるものは、まず若い人々が集まって自己啓発、修練をするものであり、ついでその力を用いて地域社会へのサービスをするものであって、さらにそのトレーニング・サービスを支える力として全員全体を貫くフレンドシップがある。一方、フレンドシップを培うことも、サービスに徹することも、またひとしくトレーニングにつながるものである。と理解されたのであった。」

と J C 三信条採択時のようすが記されている。

第 2 は、「奉仕」を強調する立場である。「奉仕を实践する過程で、修練と友情が達成される」とする。森下泰元会頭は、J C の目的について、「J C の目的は、知識ある青年たちの“社会的権威の実現”にあり、それは“対社会的義務”でさえある。社会的権威の実現、すなわち“社会奉仕”の内容は歴史的社会的に決定せられその過程において修練と友情は達成される。」と、第 2 の立場を代表して述べている。

第 3 は、「修練」を強調する解釈である。「J C 3 信条の奉仕・修練・友情は同レベルのものではない。修練のための奉仕であり、修練場としての友情である」とする立場に立つ。

1963 年に発刊されたマニュアル『L T - B o o K』には、第 3 の立場を代表して、次のような 1 節がある。「・・・・・・我々周知の 3 つの路線“トレーニング”“サービス”“フレンドシップ”は、実は並列的等価のものではなくて“トレーニング”に重点があることは明らかで、・・・・・・青年会議所活動とは“社会のためになる様な行動を通じて行うリーダーシップ・トレーニング”のことだ。」

# 用語説明

## ① J C

JUNIOR CHAMBERの頭文字をとったもので  
組織としての青年会議所の意。

## ② JAYCEE (Jayceeでも可)

青年会議所会員個々人のこと。(注:但し、この使い分けは、英語圏のNOMではそれほど厳密ではない。)

## ③ J C I

JUNIOR CHAMBER INTERNATIONALの頭文字をとったもので、国際青年会議所の意。各国青年会議所の連絡・統合・調整機関であり、本部はアメリカ・ミズリー州セントルイスにある。

## ④ NOM (ノム)

NATIONAL ORGANIZATION MEMBERの頭文字をとったもので、国家青年会議所の意。例えば日本青年会議所は、国政青年会議所の中の1 NOM (国際青年会議所)である。

## ⑤ LOM (ロム)

LOCAL ORGANIZATION MEMBERの頭文字をとったもので、国家青年会議所の中に属する各地会員会議所の意。現在、日本青年会議所の中には697 LOM (各地会員会議所)がある。(2017年1月)

## ⑥ 地区協議会

日本青年会議所としての事業計画・方針などを各ブロック及び各地青年会議所に伝達浸透させ、また一方では、各地青年会議所の事業活動・意見などを日本青年会議所に報告や連絡する為の機関である。

現在、日本青年会議所は10区分されており、10の地区会員会議所があり、主な事業としては、各地区会員大会の主催がある。

※DOMといった表記が一部使われていますが、誤りです。

## ⑦ ブロック協議会

日本青年会議所及び地区協議会としての事業計画・方針などを各地青年会議所に伝達浸透させ、また一方では各地青年会議所の事業活動・意見などを、日本青年会議所及び地区協議会に報告連絡する為の機関である。

現在、日本青年会議所には47ブロック協議会があり、主な事業としては、各ブロック会員大会の主催がある。

※BOMといった表記が一部使われていますが、誤りです。

## ⑧ J Cデー

日本において最初に青年会議所が開始された1949年9月3日を記念して、毎年9月3日をJ Cデーと称している。

アクティブシチズンデー

毎年12月11日には、J C I本部において、本年度と次年度J C I会頭出身国の国旗が入れ替わる日となっており、2010年の世界会議大阪大会において、正式にその日の名称が決められた。なお、このアクティブシチズンとは、行動する市民と訳すことが出来、日本J Cの会員のJ C活動こそがJAYCEEとしてあるべき姿と考えられて、日本J Cのメンバーのことを示すとも言われている。

## ⑨ 承認伝承伝達式

新規に設立を承認されたJ Cに対し、日本J Cからその承認証が正式に伝達される時の式典である。

## ⑩ スポンサーJ C

青年会議所未設立の地域の青年有志にお働きかけ、設立を指導援護する青年会議所のこと。

※一関青年会議所のスポンサー J C ・ ・ ・ 盛岡 J C

※水沢 J C、大船渡 J C のスポンサーが一関 J C

#### ⑪シスタ J C

国際青年会議所に加盟している国家青年会議所に所属する青年会議所の相互間の親善と友好の為に、相互の交流を行う締結関係を結んだ青年会議所のことで、姉妹 J C ともいう。

#### ⑫世界会議（ワールドコンGRESS）

国際青年会議所が主催する年1回開催される世界会議のことで、国際青年会議所の事業計画・予算の決定・役員選出・褒賞の授与・翌年度の開催地の決定などが行われる J C I 最高の意志決定機関である。開催地は毎年異なるが、開催中には総会・理事会・常任理事会・分科会・視察ナショナルパーティー・アワードバスケットなどがプログラムされている。第1回 J C I 会議は1946年パナマで開催された。

#### ⑬エリアコンファレンス

国際青年会議所は世界の加盟NOMを地域別に4つに分けている。アフリカ・中近東地域（旧エリアA）、アジア・オセアニア地域（旧エリアB）、南北アメリカ地域（旧エリアC）、ヨーロッパ地域（旧エリアD）の各地域で年1回5月から6月に行われる国際会議をエリアコンファレンスと呼び、アジア・太平洋地域のエリアコンファレンスは、ASPAC（アジア太平洋地域コンファレンス—ASIA PACIFIC AREA CONFERENCE）という名で親しまれている。

#### ⑭直前会頭・直前理事長

単年度制をとっている J C では、日本青年会議所前年度会頭を直前会頭、LOMの前年度理事長を直前理事長と称している。地区・ブロックでは、直前会長と呼ぶ。

#### ⑮日本 J C シニアクラブ

日本 J C シニアクラブは、J C 卒業生同窓会として相互の親睦を図るとともに、現役活動を陰ながら援助しようという目的で1960年設立された。J C 卒業生ならだれでも入会出来る。

#### ⑯セネター制度（SENATOR）

J C 終身名誉会員制度のことで、J C I 運動に多大なる貢献をしたメンバーをLOMが承認・推薦し、NOM及びJ C I の認証を得てその資格（修身番号）が与えられる。与えられた終身番号は、会員の死後も永久に残るという名誉ある資格である。

#### ⑰出向者

各地青年会議所より国際青年会議所・日本青年会議所・地区協議会・ブロック協議会へ役員や委員として出していくメンバーのこと。

#### ⑱「WE BELIEVE」

日本 J C は、対外的・対内的な広報活動の強化と、拡充を図るために、月刊誌「WE BELIEVE」（毎月1回15日発行、A4判）を全会員に配布している。

#### ⑲セミナー

講師の指導のもとに参加者が集って、討議して進める共同研究のことで、ゼミナールともいう。

#### ⑳シンポジウム

語源はギリシャ語といわれて親しい者同士がなごやかに食事をする意である。ある大きなテーマを中心に多くの報告者によって各々の立場から関連したことが講演形式によって述べられる。この特徴は、討論のないことと、あらゆる立場からテーマについて浮き彫りにされるということである。討論は行われませんが、各報告に対する質問は許される。

#### ㉑パネルディスカッション

パネリストによる密度の高い座談会義である。多くの者が全員討議するかわりに数名のメンバーを選んでそのメンバー間で自由に討論してもらう形式である。

#### ②コロッキー

パネルディスカッションと同様の形式による会議法で、途中専門家が追加出席して意見を述べ、討論が一方的な方向へ行かない様にコントロール出来る。

#### ③バスセッション

討論方法である。まず皆が発言できるような小グループに分け、ここで個人個人の意見を自由に表現させ、その意見を調整し、持ちより、全員参加の総会を開く。即ち全員に発言を許し、会議の討論に貢献させる方便として考えられた。この小グループによる話し合いの過程をバズセッションという。

#### ④ブレインストーミング

皆が集まって、あらかじめ議題を定めず、何人にも拘束されずに自由に自己の創造的アイディアを思いつくままに出していき、集団の集中的ディスカッションによって良い考えを発見・発展させようとする方法。(集団的創造力開発の方法)

#### ⑤フィリップ66方式

バズ形式に似たもので、多人数の場合小グループ(6人)に分け、6分間という時間を定めて短時間に集中的に各グループが会議を行う方式のこと。66式討議ともいう。

#### ⑥KJ法

川喜田二郎氏によって開発された創造力開発の手法。紙切れ法とも呼ばれ、本調査員関連があるか否かの判断をしないで、ひたすら情報をカード化し、その後、ある一定の方法でこれを組み立てて判断するという手法。例えば、グループごとに話し合い、全体会議で発表してまとめていく。

#### ⑦ロバート議事法

ロバート・ルールズ・オブ・オーダー。「多数者の権利」・「少数者の権利」・「個人の権利」・「在不在者の権利」の4つの権利と、「一時一件の原則」・「一時不審議の原則」・「多数決の原則」・「定足数の原則」の4つの原則を基本的なルールとして行う会議運営の方法。これは国連をはじめ、世界各国で採用され、青年会議所でも正式に採用されている。

#### ⑧コーディネーター

会議の際に、それまで出された意見を集約、調整し、会議を進行させる担当者。

#### ⑨アドバイザー

パネルディスカッションなどの討議会の時に、会議を進行させる為に助言を行う講師のこと。

#### ⑩パネリスト

パネルディスカッションを行う時に、各分野から出席する数名の意見発表者のこと。

#### ⑪CD

コミュニティー・ディベロップメントの略で社会開発のこと。

#### ⑫LD

リーダーシップ・ディベロップメントの略で指導力開発のこと。

#### ⑬MD

マネージメント・ディベロップメントの略で経営開発のこと。

#### ⑭LIA

リーダーシップ・イン・アクションの略で、LDが発展拡大したものである。個人と集団の指導力を開発するプログラムで、実践指導力開発と邦訳されている。1968年のマルデルプラタ世界会議でJCI恒久プログラ

ムに採択された。

③⑤HD

ヒューマン・ディベロップメントの略で人間力開発のこと。

③⑥AOY

アクセント・オン・ユースの略で、青少年開発のこと。その地域社会に住む青少年を参加させて、地域社会の開発の為により良き道を見出すよう青年達を助ける方法を提供するプログラムである。1970年にダブリン世界会議でJCI恒久プログラムに採択された。

③⑦三分間スピーチ

LD手法の一つで、電話一通話の時間内即ち三分間で自己紹介から始まり、テーマにそったスピーチを完了させる方法。

③⑧FC構想

フューチャークラブ構想の略で、青少年が手をつなぐ運動のこと。地域社会にある既存の青少年グループ。会員自身の子弟、会員の経営する企業内の勤労青年などを始動団体として、明日の日本の為の広場づくりを進める働きかけのことである。

③⑨カテゴリー

本来の意味は、同一性のものが属する部類を指すが、国際青年会議所では、重点事業の項目のことをいう。

④⑩チャーターメンバー

各地青年会議所会議所が設立された時に入会した初代会員の呼称。

④⑪スリーピングメンバー

資格を持ち、活動が義務付けられているにもかかわらず、その活動及び例会・総会などにも積極的に参加しない会員のこと。

④⑫アクティブメンバー

スリーピングメンバーの反対の意。全体の中の個人・個人であっての集団であることの自覚を持ち、そして責任を果たし、社会開発と自己開発に挑戦し、活発に行動する会員のこと。

④⑬ガイダンスメンバー

オリエンテーション、委員会等でガイダンス勉強期間中の新入会員の呼称。

④⑭アテンダンス

総会・例会・各会合に出席することをいう。そして出席の証しをアテンダンスカードと呼ぶ。

④⑮エントリー

褒賞獲得や、または大会誘致等々の為に立候補申請することをいう。または出向者の推薦及び登録のことをさす。

④⑯アジェンダ

理事会や委員会等を運営する時の式次第のこと。

④⑰マニュアル

手引書のこと、日本JCには組織に関するもの、運営に関するもの、事業に関するもの等多数のマニュアルを持っている。

④⑱人間力大賞（旧TOYP大賞）

各地で、様々な分野で、素晴らしい考え方をもちそれを実践し、まちの地域市民として活動を続けている将来性のある若者（TOYP＝傑出した若者）の功績を讃え、その運動を広く紹介するとともに、そこから学ぶことを目的としている。

#### ④9褒賞

青年会議所運動を通じて地域に貢献した会員会議所を称え、その名誉を全国に発信するとともに、各地会員会議所がこれらの事業を参考として新たな気づきや学びを得る機会とし、関わるすべての人に地震や誇りを与え、メンバーのモチベーションや未来の青年会議所運動の発展に資することを目的に褒賞制度を設けている。

#### ⑤0プロボノ

ラテン語のPro Bono Publico（良い公共のために）を略した言葉。JCにおいては「公共の利益のためのスキル提供による無料奉仕」と定義し、社会人が仕事を通じて培った専門的知識やスキル・経験やノウハウなどを活かして社会貢献することを意味する。

## 新入会員のために

### 新入会員の心得

#### （1）新入会員の心得

1. 充実したJCライフをおくる為に、JCをよく理解しなければならない。
2. 常に自分の考えをわかり易く表現することができなければならない。
3. 常に若さと活気に溢れ、笑顔を忘れてはならない。
4. 会員としての責任感を持ち、積極的に参加しなければならない。
5. 進んで難しい仕事に当たり、責任をもって完成させなければならない。
6. 議事法ほか会議の進め方をマスターしなければならない。
7. 完全な議事録を作成できなければならない。
8. 会議の議長を務めることができなければならない。
9. 与えられた時間で自分の意見をまとめ、発表できなければならない。

#### （2）会員の心構え

1. 常に高い目標を持ち、その目標に向かって努力しなければならない。
2. 自分自身を識り、向上させなければならない。
3. 目的に向かって計画的に自己を管理しなければならない。
4. 特に自分自身の健康管理をしなければならない。
5. 確固たる信念と強い意思のもとに、目標に向かって直ちに行動を開始すること。
6. 一日一度は自分を見直すこと。
7. 地域高知印の一人として、地域社会の活動に進んで参加しなければならない。
8. 正しいJC運動を地域社会に広めなければならない。

（3）JC会員としてのマナー—一人ひとりの言動や行動が多く数の会員あるいは組織の品位を傷つけることにつながることから、会員としてのマナーを厳守しなければならない。

1. 品格ある青年として行動する。
2. 常に礼儀正しい服装をし、必ずバッジをつける。
3. 常に他人に対し、不快の念を与える言動を慎む。
4. 常に他人の話聞く、その権利を尊重する。
5. 諸通知の出欠ハガキは、すみやかに必ず返信を出す。なお、出欠の変更又は遅刻の場合は、必ず事前に事務局まで連絡する。
6. 諸会合には定刻に出席し、時間の無駄使いをしない。また、諸会合に出席した時は、必ず署名登録をする。

7. 発言する時は、挙手して上衣のボタンをかけ、所属および氏名を明確に述べる。
8. 諸会合では、私語・雑談を慎む。
9. 先輩には敬意を示し、挨拶をすると同時に名刺を交換する。
10. 会員同士の付き合いには、相手の人格を損なわないように敬意を示し、笑顔で握手する。